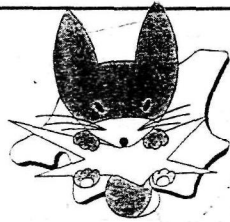


Informilo de HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

# Heroldo de HEL

N-ro 92 Jan.-Sept/2002



HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ĉe HOŜIDA Acusi

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

北海道エスペラント連盟

〒053-0844

苫小牧市宮の森2丁目18-18 星田 淳方



## Afganaj E-Lernantoj en Mashado, Irano

Afganaj komencantinoj deziras korespondi tutmonde !

Estimataj ! La sube menciitaj komencantinoj kiuj estas rifuĝintaj Afganoj en Irano, arde partoprenis en la E-kursoj kiuj estas aranĝataj en kadro de la projekto "lingvo de Paco".

Mi petas vin bonvolu diskonigi la korespondpetojn kaj kuraĝigi la korespondpetantojn eĉ se vi ne intencas korespondi kun ili almenaŭ sendi al ili kuraĝigan poŝtkarton kiu povas ege efiki kaj kaŭzi emocion ĉe ili !

Antaŭe dankas kaj sincere salutas ; *Reza Torabi* - [reza@esperanto.org](mailto:reza@esperanto.org)

イランでエスペラントを学ぶアフガン難民 文通希望のリストが次ページに

## Rifugantaj junulinoj el Afganio volas korespondi

エスペラントを学ぶアフガン難民の少女たちに手紙を送ろう

文通希望者リスト

1. f-ino Yarbakht Yazdani, 22 jara  
No:66, 8 Metri Abuzar, 12 Metri Namju, Falake 2, Gol Shahr, Mashad, Iran
2. f-ino Zahra Akbari, 18 jara  
Adreso: No:31, 12 Metri Namju, Gol ahr, Mashad, Iran
3. f-ino Parvin Akbari, 16 jara  
Adreso: No:31, 12 Metri Namju, Gol ahr, Mashad, Iran
- ▲4. f-ino Tahereh Akbari, 23 jara  
Adreso: No:56, 8 Metri Dovvom Bad az 4 Rah, Gol Shahr, Mashad, Iran
5. f-ino Hamide Salehi, 19 jara  
Adreso: No:63, 8 Metri 2 samte chap kuche avval, Gol Shahr, Mashad, Iran
6. f-ino Nila Akbari, 20 jara  
No:8. K: Ali Darigh, Dakhel-e Meydan, Vahdat 17, Rezaiee - Mashad, Iran
7. f-ino Fariba Akbari, 15 jara  
No:8. K: Ali Darigh, Dakhel-e Meydan, Vahdat 17, Rezaiee - Mashad, Iran
- ▲8. f-ino Parvin Akbari, 16 jara  
Adreso: No:31, 12 Metri Namju, Gol Shahr, Mashad, Iran
9. f-ino Zohre Ebrahimi, 16 jara  
Adreso: No:53, 8 Metri Dovvom, Gol Shahr, Mashad, Iran
- ▲10. f-ino Zahra Nabi Zade, 17 jara  
Adreso: Darb-e sefid, K: Hasan Mardani, Bluk-e 7, K:Eshagi, 300 Dastgah, Pich-e 2 Tal Gerd, Mashad, Iran
11. f-ino Fateme Nabi Zade, 15 jara  
Adreso: Darb-e sefid, K: Hasan Mardani, Bluk-e 7, K:Eshagi, 300 Dastgah, Pich-e 2 Tal Gerd, Mashad, Iran
12. f-ino Nahid Hoseyni, 19 jara  
Adreso: No:51, K:10, K: Hasan Goli Khani, Baste Pain Haram, Mashad, Iran
- ▲13. f-ino Zahra Hoseyni, 16 jara  
Adreso: No:51, K:10, K: Hasan Goli Khani, Baste Pain Haram, Mashad, Iran
14. f-ino Masumeh Rahimi, 19 jara  
Adreso: No:16, Milan 8, 20 Metri Mosalla, Mashad, Iran
15. f-ino Fatemeh Kheyrkhah, 19 jara  
Adreso: No:8. K: Ali Darigh, Dakhel-e Meydan, Vahdat 17, Rezaiee - Mashad, Iran
16. f-ino Fatemeh Sadegi, 19 jara  
adreso: 383, 10 Metri Hashemi, 30 Metri Tejarat, Gol Shahr, Mashad, Iran
17. f-ino Fatemeh Feyzi, 19 jara  
Adreso: No:134, 30 Metri Tejarat, Gol Shahr, Mashad, Iran
18. Fatemeh Ebrahimi, 16 jara  
Adreso: No:53, 8 Metri Dovvom, Gol Shahr, Mashad, Iran
19. f-ino Kobra Ebrahimi, 20 jara  
Adreso: No:53, 8 Metri Dovvom, Gol Shahr, Mashad, Iran
20. f-ino Mitra Khoshmanesh, 20 jara  
Adreso: No:37, K: Talebi Nov, Kuye Zargaran, Bulvar-e Tus, Mashad, Iran
21. f-ino Farid Naimi 16 jara  
Adreso: No:100, Milan 7, Kh: Sahe Al Zaman, Bulvar-e Tabarsi, Mashad, Iran
- ▲22. f-ino Fahimeh Jafari, 17 jara  
Adreso: No: 21, Kh: Mofateh, 30 Metri Tollab, Mashad, Iran



23. f-ino Farahnaz Jafari, 16 jara

Adreso: No: 21, Kh: Mofateh, 30 Metri Tollab, Mashad, Iran

24. f-ino Narges Karimi, 21 jara

Adreso: No:34, Bad az Pol-e Belal, Kh: Resalat, Mashad, Iran

25. f-ino Fariba Naimi, 19 jara

Adreso: No:100, Milan 7, Kh: Sahe Al Zaman, Bulvar-e Tabarsi, Mashad, Iran

▲26. f-ino Nazanin Keyrkah, 16 jara

Adreso: Falake Zed, Namayandegi SIPA - Ali Tutunchian, Mashad, Iran

27. f-ino Fatemeh Sajadi, 19 jara hesarl20@yahoo.com

28. f-ino Mahbubeh Sadat Godsi, 23 jara

adreso: No:115, K: 1 metri, 4 rah-e 2, Milan 14, Meydane Askariyeh, 30 Metri Tollab, Mashad, Iran

▲印は、星田淳が既に手紙を送った相手です。

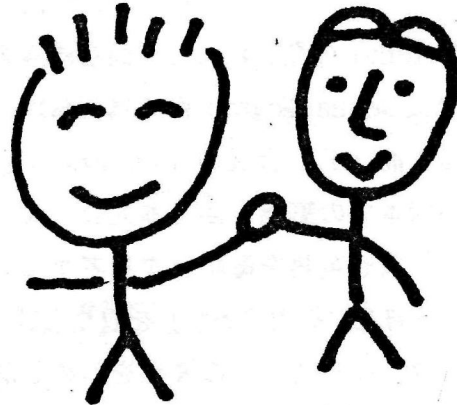
編集より

前号で、年度決算に大きく抜けている所があり、会計が別途に決算・予算を送付しました。不手際で皆様に迷惑をかけましたことをお詫びします。

かってない、大幅なこの号の遅れを謝まります。

樺山 裕介

訂正 30頁 肅正→肅清



## 第8回委員会報告

(2002.9.8 札幌市北区ロンデタージョ)

出席者：星田淳 佐藤英治 佐藤不二雄

松野元 宮沢直人 樺山 裕介

佐藤不二雄から、大本エスペラント普及会北海支部が9/15に立ち上がることの報告があった。第65回道大会(2001)決算書の作成について、事務員の立替分について精算の請求がないものについては、8/31締め日をもって処理切り捨て。寄附者・大会参加者の氏名を、機関誌に載せない年が続いたが、公表を再開することにした。図書は帳簿づけ作業が遅れている。発行が遅れている Heroldo de HEL に代わり、「事務局通信」を82部送付した。今後、エスペラントを宣伝するパンフレットを独自に創る。広報部(横山)・組織部(星田)・事務局(佐藤英治 宮沢)が連絡しあって作業し、責任者は佐藤英治とする。ゆくゆくはコマースシャルフィルムを作りたいという意見も出た。来年の新年講習会はロンデタージョで、5月合宿は富良野市山部で行う方向で。宮沢が、外務省タウンミーティングに参加したので、

その報告があった。(34頁参照) 翻訳サービスには、名古屋在住のアイヌ民族の人から、人類学者の河野本道氏を批判する文を訳してほしいと依頼が来ている。先住民族をつなぐエス文電子定期刊行物 Tamtamo の日本語訳作業は、木村護郎氏、柴山純一氏の協力を得て、いまでも続いている。故中里和夫氏の御遺族からの寄附金の使い道について、ザメンホフ著作全集(PVZ)購入と連盟旗の新調のふたつにすることで、委員会から総会に提案することが決まっているが、その具体的な試算・見積もりが報告された。連盟歌を創ってはどうかという意見が出た。会計の松野から財政部を設置したいと提案があり、委員会でこれを支持した。委員人事について、本人の内諾を得たので、セルゲイ=アニケーエフ氏を次回推薦者の中に入れることになった。機関誌を、会員に必要な事を知らせる定期連絡紙 Heroldo de HEL(事務局通信)と、不定期の読み物誌 Leontodo に分離する案は、反対もあり、総会で審議。(文責 樺山)

Zamenhof-Festo de SES

札幌エスペラント会のザメンホフ祭

GOTOO Yosiharu 後藤 義治

もう年が明けてしまったが、昨年 12 月 15 日 (土) 午後、札幌エスペラント会は市中心部にある「かでの 2-7」で Zamenhof 祭の 1 日を楽しんだ。

Espero で始まり、事務連絡等決まり物を早々とかたづけて、各チーム準備してきた temo の発表に入る。最初は格調高く Akademia Teamo からは白濱さんが講義。前 UEA 会長の Kep Enderby さんが熊本での第 87 回日本大会に講演された「なぜ英語を母語とする者がエスペラント普及に努力するか」を取り上げ、フリップを使って、その関係をしめしながら約 15 分間お話をされた。白濱さんは海外での豊富な講義の経験から、臆することなく最後まで Esperanto で通した。筆者も 40 年ぶりに学生になった気分を味あわせてもらった。これが SES Zamenhof で最も akademiema な Programo のひとつになった。

いっぼう磯辺先生は Zamenhof が Esperanto を考案するに至った、生地事情を朗読した。

当時のポーランドはロシアの圧政下にあり多民族、多言語社会、常に黒い手に支配され、罪なき市民がいがみ合っていた。Zamenhof は民族共生を夢を託し、国際語 Esperanto がこうしてこの世に生まれた。磯部先生は Zamenhof

の功績を賛えて敬意を表した。

女性集団 Vinbera teamo は末永さん考案のゲーム。前月めくったばかりの一枚の Kalendaro がネタ。絵柄はメルヘンチックな童話の世界。全員が二つに分かれて、それぞれがこの絵から E・S・P・E・R・A・N・T・O が頭文字になる動物や背景、事柄を探し、1 分間の「お題噺」を Esperanto です。1 分より長くても早すぎても減点。大方の予想通り児玉さんの teamo が楽勝して終わった。

出し物の合間には H E L 図書部が出展した本を選んだり、会員の持ち寄ったバザーで小物を見つけたり、休み時間もそこそこに忙しい。また日本大会や世界大会、外国旅行などの epizodo に話はずませた。雑談もつikir ことはない。最後は Zamenhof kvizo。出題は Feino teamo。

Kvizo は 8 問あって Zamenhof の母の名や、Zamenhof は何男か?などを当てる Kvizo。新人の関戸さんからは Zamenhof と同じ名を持つ日本の komediano は誰?などの出題もあった。絶対にあたらないと思っていた Zamenhof Klementine は何代目?も答える人がいて、さすが SES のメンバーは古いだけでないことを証明した。こうして午後 4 時 Tagiĝo で会をいったん閉め、会場近くにある、いつものレストランで食事をしながら今年の反省と来年の健闘を誓って SES 2001 年の活動を一時休止した。

2001.12.31 「インパク」への参画が評価されました。

## 感謝状

「アイヌ語とエスペラント(語)」

横山裕之(北海道大学インターネット連盟員)殿

あなたはインターネット博覧会において  
パビリオンを設置運営され我が国の  
インターネット文化の普及と振興に多大な  
貢献をされました

よつてここに深く感謝の意を表します

平成十三年十二月三十一日

新千年記念行事推進担当大臣

国務大臣 竹中平蔵

### Danka Folio

“ La aina lingvo kaj Esperanto ”

Al s-ro JOKOJAMA Hirojuki ( Hokkajda esperanto-Ligo )

Vi fondis kaj administris la pavilonon. Tio donis grandan helpon al la diskonigo kaj al la progreso en nia stato.

Pro tio mi montras profundan dankon.

31-a de dec. 2001

la ministro, kiu respondecas pri la evento de la nova miljaro

TAKENAKA Heizo

Zamenhof-Festo en Sapporo ; Kantis la himnon “ La Espero “. S-ro Sirahama parolis en Esperanto pri la prelego de Kep Enderby ĉe la Japania kongreso. Alia prelegis la cirkonstancoj de la urbo, kie Zamenhof naskiĝis. Vinbera teamo gvidis ludon per febela bildo. Feino-teamo faris al ĉiuj ok demandojn pri Zamenhof. Kanto “ Tagiĝo “. Festeno.

Karaj samideanoj,

この件のその後の状況について：ぼつぼつとしか来ない反応にその都度応えていましたが、この機会に振り返ってみます。

最初に来たむこう(Naberejnie Čelni)からのメールは、エスペランティスト有志のメーリングリスト ERAJ に出ました。内容は道新に出たものと同じです。

その後むこうから埋葬されている人の名簿も来たのでインターネットにも出し、心当たりある人の連絡を待ちました。このころ連絡、問い合わせをしたのは全抑協関係者で、北海道全抑協の役員会に出てみたり、エラブガから帰った人の話を聞いて廻ったこともあります。そこでわかったこと：

\*ここは将校を集めた収容所で、日本軍時代の組織をそのまま保っていたほかの収容所とは違い、個人個人のつながりは強くなかった。

\*抑留者団体にもいくつかのグループがあり、斉藤六郎氏(元全抑協会長)のグループ、政府に金を出させて事業を行った(自民党・閣僚)相沢英之氏のグループなど。互いにほかのグループとは連携なく、他グループのことはよくわからない。

\*ソ連は戦時捕虜に関する国際協定によって将校の捕虜には労役を課さない原則だったようだが、現地所長の越権はあちこちであつたようで、エラブガでもトラブル(ストライキ)が起こっている。しかしエラブガでの9千人(延べ1万5千人説もある)と言われる収容者中死者85人は格段に少なく、他の収容所と比べれば生活の条件は苛酷でなかったと思われる。

(抑留者全体では1割を越える死者を出している)

—ERAJのメールを読んだ人から反応：

> リストの56番鈴木義雄さんは私の父の戦友のようです。

(返信でエラブガの墓地の写真を送った)

> 返信受け取りました。jelabugaの写真には父もじっと見入っておりました。

> ありがとうございます。父の名は谷和富です。

> 父は鈴木義雄さんと北朝鮮の会寧、79師団から行動をともしており、シベリヤ東部国境、ラーダ、jelabugaと移動。jelabugaで鉄道敷設の路面整備工事中に土砂崩れが発生、亡くなられました。79師団連隊副官だったそうです。父は新潟県新発田から会寧に送られましたので、鈴木さんも新潟県出身(または宮城県、長野県)か本籍の可能性が高いと考えています。

(星田)厚生労働省が多くのデータをもっていることはわかっており、当たってみました。が、「プライバシー保護のため、遺族についての情報は外部に出せない」そうです。最近、「戦場で拾得した日本軍戦死者の遺品を遺族に返したい」との元米軍関係者の申し出に対して、当局は遺族探しに協力する様子ですが、これは例外でしょうね。

Niftyのフォーラムにある「エスペラント」と、「通信隊つぐみ」には、この件アップしました。

11月9日、道新に記事が出たあと道内の元抑留者や、その知人の方から反応がありました。

\*石狩市の浦田俊吉さん「リストの70番深沢二男(ふかざわふたお)は元道庁土木部帯広土木事務所の友人、戦争で音信が絶えたが、7年ほど前深沢の上官で彼の最後を看取った佐藤寛氏(東京)から連絡あり、





## Komenca Kurso

### 新年講習会を、終えて

SATO Huzio 佐藤不二雄

去る二月十日、十一日の両日 AM 九時半から、北海道エスペラント連盟事務局であるロンデタージョにて2002年新年講習会が開かれました。当日、私は初等の担当で始めての人達を迎えようとして会場で、待っていました。すでに申し込みはしているものの本当に集まるのか、期待と不安でいっぱいでした。その不安を吹き飛ばすように、九時十五分頃次々に受講者が集まって、定刻通り九時半から始まりました。最初に自己紹介から顔ぶりは、子育てが楽になった主婦、ボケ防止というご年配の方、中年の夫婦、と、様々とエスペラントとは？これはエスペラントの歴史、主義等、アシスタントとして、連盟の委員長であります sinjoro 星田にお手伝いいただきました発音、アクセント、やさしい挨拶、途中休憩入れてビデオで「エスペラントの歴史」三十分見て今度は sinjoro 星田と sinjoro 樺山との会話、皆素晴らしいと、感激していました午前の講習は終わる、昼食は会員

の心のこもった、おにぎり皆おいしく頂いて食事中のにぎやかな事、委員長中心に笑いの連続でした。PM から文法を、少し二時頃に帰られる方たちが、ありましたが、途中で休憩入れてビデオ「エスペラントの文法」を見て復習して一日目が終わりました。

二日目、二月十一日 AM 九時二十分頃ぼつぼつと昨日受講した方たちが、それに新しい受講生が6名が集まって来まので安心しました。昨日の繰り返しを、ビデオ見せて、これは、昨日と同じ物、感想文を書いていただき二日間の日程を終了しました。さて、ここで反省する事があります、テキストの誤り、発音の勉強不足、アシスタントに助けていた事です。少しでも受講者にエスペラントのことが理解できたかなと思っています。

最後になりましたが、委員の皆様御協力いただき有難う御座いました、この素晴らしい言葉エスペラントが発展する事をお祈りしまして私の感想とします。

「いらっしゃいませ！」と笑顔で迎え、「ありがとうございました！」と笑顔で送り出す、そんな学習会ができました。(かばやま)

Mankas: oficialaj datumoj

## 新春講習会参加者の感想から

三浦 博子さん

「エスペラント」を初めて聞いたのは、中学生か高校生の時、先生から（何先生だったかは覚えていません）授業の時でした。世界の共通語ということでした。その時、単純に思ったのは、「それなら世界中の学校で教えれば良いのに」という事でした。

「いつかはならってみたいな」その程度でした。英語にも話せる様になりたいと関心はありますが、英語が共通語になれば良いという風潮には疑問がずっとありました。互いの国の文化を尊重しあい、共通の言語が出来たら良いですね（あったのです）。言葉が通じなくても心が通い合う、又、その逆もあります。でも簡単に互いの意思や気持ちを通わせる手段があれば、素晴らしいと思います。頭が固くなりかけているけれど、すこしずつ始めてみようかなと思います。

近藤 まゆみさん

「ESPERANTO」...この単語を初めて耳にした時に、なんて美しい響きなんだろう?...と感じたのが記憶にあります。約半年ぶりにこうしてお勉強会に参加させて頂きました。何よりも参加されてる皆さんがとても熱心に学ばれていることに圧倒されます（笑）。拝見したビデオはとても新鮮でした。特に「知れば知るほど国際語エスペラント」の中でBGMで流れてる音楽（ロシア特有のピアノ伴奏にしている曲）は、本日の主旨とは関連性が無いかも知れませ

んが（笑）、ジンと心に響くものがありました。上手く話せたら楽しいでしょゆね？文法的な事は不得手とする私はいつもいつも壁にぶつかり崩れ落ちております（笑）。ESPERANTO がもっともっと普及するといいですね。

佐々木 康乃さん

私は今、テレビのスペイン語を少しかじっています。新聞でこのエスペラント語（昔は何かよくこのことばを聞いた気がします）講座があると知り、すぐこちらの事務局に参加を申し込みました。スペイン語をやったきっかけは、中南米が大好きで、特にキューバに惹かれるものがあり、そしてこの言葉は多くの国で使われているということでもやり始めましたが、このエスペラント語は何と世界共通の言葉であり、それが世界の人たちの心をストレートにつなげることのできる言葉ということを知り、今日この講座で更に感じる事が出来たと共にとても合理的でスペイン語よりも理解しやすいものだということになりました。ぜひ覚えていと痛感しました。教えて下さった先生方に感謝いたします。どうもありがとうございました。

中田 実さん

エスペラントという、なじみの薄い講習会でしたが、内容は初心者向けのとおり、門戸を安易に開くことができました。英語があまりにも普及しているのに対して、エスペラントは影が薄いので、どこまで学習ができるか、どこまでついて行くことができるかが不安になります。「かでる」で初心者向けの講習会があるようですので、そちらの方で勉強するつもりです。今回の講習会を企画して下さいましたスタッフの皆様に感謝します。

日根 久美子さん

約 40 年ぶりでエスペラント語と会い、なつかしい思いでいっぱいです。前は現役で勤めて居りましたが、退職年金者となり、時間も持てそうなので、何とか、仲良くしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

白濱 晴久さん

ずーっとビデオを見ましたがなかなか面白く思いました。丁度セサミストリートのように。英語なら英語国民の話す言葉が標準（模範）でしょうが、エスペラントは誰が話す言葉がベストでしょうか。それぞれの国語がかったエスペラントが出来る程普及することが望ましいでしょうが普及する程「方言化」が進むでしょう。でも普及が先ですね。

## La ne-elementa kurso

trejnis la aŭskultan lertecon per la vidbendo "Mazi en Gondolando". Unue kursanoj vid-aŭskultis la vidbendon sen klarigo. Due oni ripetis kelkfoje scenon, kiun la kursano ne komprenas. Mi, la gvidanto, malrapide pronocis la parolo de la rolantoj, reĝo, reĝino, princino, malbonuloj, heroo, ktp. Post la ekkompreno, ankoraŭfoje revidigis la scenon por konstato. Tiel kursanoj ĝuis la movantan bildaron komprenitan per ne mia sed ilia propra vortokapto ĝis la fino.

KABAYAMA Yūsuke

★ロシア語では、アクセントのあるところを一段と低い音で発音します。同じスラブ系であるポーランド人による教材テープを聴くと、アクセントの付け方が私たちが慣れている仕方と逆でした。白濱さんが、ビデオでは習ったとおり話していないと言われたのも、ポーランド人出演者がポーランド流に話しており、さらに、芝居を自然にしようとして発声をあいまいに流しているのも私にも聴き取りにくかった。アクセント音は高低ではなく、大きく長く発音するのが正しいやりかたで、それさえ守れば抑揚がどれだけ国によって癖のあるものでも聞き分けることができますし、自由です。エスペラントの方言分裂は初期から心配されてきましたが、誕生から百年、分裂していません。日本人はRとLの区別が苦手で、フランス人は始めのハヒフヘホがついアイウエオになってしまうとかありますが、これは個人での克服課題だし、笑えるほど米語流の抑揚（イントネーション）でのエスペラントを聞いたことがあります。理解には何の支障もありませんでした。



## Letero de la filo de Hokkajda pioniro

「父は元気です」－2002 年新年講習会外伝－

MIYAZAWA Naoto 宮沢直人 (事務局次長・図書部長)

道新の記者に電話で新年講習会の取材を受けて、私は「そうですね。最近の特徴は老人の方が始められるケースが多いですね。」と答えた。彼女はさっそく札幌エスペラント会の定例会の取材を行って、大きな記事にしてくれた。

その日から電話での問合せが十数件も続くことになった。案の条、定年退職した方々からの問合せが多い。なかには 80 才を過ぎて若い時にやりたいと思っていたエスペラントを是非ためしてみたい等、エスペラントが高齢化社会の隠れた流行になる気配を感じさせるものだ。

「高齢者パワーで運動の底支えをして、若い諸君にはやりたいことを思いきってやってもらう。」という路線をとりつつある私は嬉しくなってしまった。ところが一件だけ少し妙な電話があった。やはり高齢の方で 79 才の男性なのだがこう言う、「道新の記事を見て 70 年前のおぼろげな記憶が急によみがえったようなのです。『ミア パトロ エスタス サナ』これはエスペラントですか？」

彼の名は坂本親彦 (ちかひこ) さん。そして父の名は坂本楯旗 (たてき) だという。親彦さんは小学校 2 年の時に父からそのフレーズを聞きかじったというのだ。半信半疑で私は昔の資料を引っ張り出した。古い書籍の整理を苦勞してやっておいたのがよかった。父上楯旗さんは

1930 年代札幌鉄道倶楽部エスペラント会の中心メンバーのひとりで「北海道の鉄道エス界の重鎮」とある。会の機関誌の発行人でもあった。さっそく 1934 年発行のその機関誌のコピーを親彦さんに送付した。以下は、彼からの返書である。

先日は、エスペラントの文字のみに惹かれて亡父に関連の片言についてお尋ねいたしましたところ、資料に添えて半世紀以上も昔の関連の事項までご調査の上お知らせいただきまして、誠に有り難うございました。おぼろげな一片の記憶のみで、それ以上の事は何も知らなかった父の事に関して全く新しい側面を知ることができたのは大いなる感激でございました。しかしながら、新しい展開は何も興すことはできず、強いて言えば、小学生の頃、北三西四角にあった鉄道クラブに夕方来るように言われ、何か用を言いつけられたことがあったのは、会の例会で帰宅の遅れるためであったためかな、と思いますが全くの憶測にすぎません。

関連の資料があればとのことですが一葉の写真すらないのは誠に残念と申すのみでございます。簡単なが一言お礼のみ申しあげ失礼いたします。 敬具。

# El ĵurnaloj 新聞から

1923年のエスペラント学会の名簿に、北樺太ティモフスク農事試験場の人が載っているそうです。当時はシベリア出兵の後で、樺太全土は日本が占領していました。

2002.2.27 北海道新聞

2002.3.6 スポーツニッポン

認識を深めたい  
ニス・ブランド史  
無 藤 杉村 孝雄  
(札幌市東区・72歳)  
170の語彙を収録した「一語一語」の語彙本「エスペラント」が、1923年11月、東京で出版された。道新のニス・ブランド史に、この語彙本が紹介された。道新の「エスペラント」が、1923年11月、東京で出版された。道新の「エスペラント」が、1923年11月、東京で出版された。

「エスペラント」は、1923年11月に東京で出版された。道新の「エスペラント」が、1923年11月、東京で出版された。道新の「エスペラント」が、1923年11月、東京で出版された。

2002年(平成14年)3月6日(水曜日)

## あなたの行きたい場所へ、あなたの知りたい情報を

# 世界が輪 世界の和

### 120年前に考案 文法16だけ

超シンプル 国際語で裸の付き合いを

道運盟も積極交流

セルフ手打ちのサービスも

世界が輪 世界の和

11月19日、札幌市生まれの30歳、北海道生まれの70歳の道民が、エスペラントの国際語を駆使して「世界人」として日本の道民と交流する。道民人。

## La rifuĝinto el Kongolo, s-ro Ntumba Kapinga

コンゴ民主共和国[旧ザイール]からの難民ントゥンバ=カピंगाさんの今

2002/1/30 19:10

Tre kara amiko, Mi tre ĝojas kontakti vin per interreto. Ĉu vi ricevis la leteron en kiu mi sciigis al vi ke mi nun estas rifuĝanto en Zimbabvo ne en Zambio?

Mi esperas ke mi baldaŭ ricevos vian respondon.

Amike via Ntumba Kapinga  
2 INET GATE  
[kapingan@yahoo.com](mailto:kapingan@yahoo.com)

2002/2/4 18:07

Tre kara amiko,

Mia revo iri studi en Dakaro ne efektiviĝis, ĉar tiu, kiu promesis pagi por mia studo decidis ne plu helpi, ĉar, laŭ li, li ne plu eblis, kaj tio devigis al mi foriri de Zambio kaj la vivkondiĉoj en la rifuĝejo fariĝis teruraj.

Tie ĉi en la ĉefurbo de Zimbabvo mi loĝas ĉe sampatriano kiu ankaŭ estas rifuĝanto kaj ne laboras. Mi ne povus iri en la rifuĝejo ĉar tie la situacio similas al tiu de la rifuĝejo en Zambio, ankaŭ tie oni ne povas komuniki per la interreto.

Malgraŭ miaj vivkondiĉoj, mi ĉion faris por komuniki per la interreto ĉar ĝi estas pli rapida ka fidinda ol la poŝto.

ントゥンバさんの南アフリカ共和国留学、セネガル留学計画がいずれも挫折、ザンビアを経てジンバブエにいるそうです。インターネット喫茶を始めようとコンゴ人仲間と立案中、250ドルの出資者求む、とのこと。

2002/3/?

La sampatriano kiu gastigis min havas komputilon hejme, mi negociis kun li kaj proponis al li la projekton kiu, laŭ mia opinio plibonigos mian vivkondiĉon kaj helpos al mi min elturnigi, la sampatriano aprobis mian projekton.

La projekto konsistas el malfermi kafejeton kun tiu komputilo por ke mi akiru monon kiu helpos al mi solvi miajn problemojn.

Mi bezonas *Modem*, telefonlinion, pagi la "*Service Provider*"(kiu konektas al interreto), kaj ĉambro, kaj en tute tio kostos al mi almenaŭ 250\$US.

Ĉu eblos ricevi helpon de japanaj samideanoj por ke mi iel nek dependi de aliaj kaj nek ĉiam esti petuloj?

Mi opinias ke se mi sukcesas malfermi tiun kafejeton, mi eblos plibonigi mian vivon kaj iel helpi miajn familianojn kiuj estas en mia patrujo.

Krom tio, ĉu vi havas la artiklon pri Zairo? (kiu kulpas por la morto de Lumumba?) Se jes, se eblos, bv, sendi ĝin al mi.

Samideane via Ntumba

## La aina lingvo

2001年ウラジオ学生大会での発表原稿「アイヌ語」

KABAYAMA Yūsuke 樺山 裕介

昨年のアジア太平洋地域国際学生大会での発表原稿です。

Loknomoj en Hokkajdo konsistas el multaj ainaj vortoj kaj malmultaj japanaj vortoj.

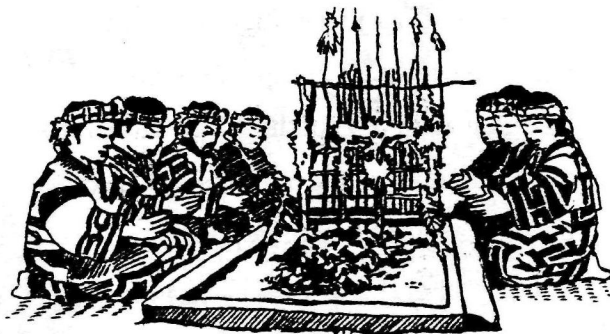
Sapporo estas `seka vasta` ; Sat=seka, Poro=vasta. Tio montras la staton de la seka delto sub la urbo. Kusiro estas `vojo` ; Kus=iri , Or=loko aŭ Ru=vojo. Obihiro estis origine O-kerekere-p (finon-disiganta-afero) kaj tiel oni nomis la kolektiĝon de multaj riveroj en la rivero Tokati. Otaru estas sabla (Ota) vojo aŭ loko. Tiuj nomoj de urbo estas ainlingvaj.

[La nomoj de la urboj Hakodate, Titose, Kitami , Iwamizawa devenas de la japanaj vortoj, perspektive havas la signifojn Skatola domo, Mil jaroj, Norda vido, Bana fluo. Asahikawa estas japanlingva nomo tradukita de la originala aina nomo Tyuku-betu, tagiĝa rivero. Takikawa, Sunagawa, Hukagawa apartenas al la sama tipo.]

Pli ol 90 procentoj da ainaj loknomoj rilatas al rivero. Ĉiuj branĉoj de ĉiuj riveroj estas

nomitaj de ainoj. Riveroj provizas fiŝojn al ainoj, precipe salmojn, la plej ĉefajn manĝaĵojn. Kaj geografio per riveroj estas tre utila por ĉasado de cervoj kaj ursoj. Ainoj respektas riverojn kiel vivantajn spiritojn.

Restas multaj loknomoj de ainoj, sed nun ege malofte estas aŭdi parolatan ainlingvon en nuna vivo. Preskaŭ ĉiuj nunaj ainoj kreskis en la japana lingvo. Kaj bonaj lerniloj de la aina mankis antaŭ dek jaroj. Apenaŭ lastatempe ainoj, kiuj gajnis dignon pri ilia sango, klopodas regajni ilian lingvon en si ĉe iliaj kunsidoj, kaj aperis bonaj lernolibroj, lerniloj, programero de radio pri la aina.





La aina lingvo ne estas dialekto de la japana. Sube sekvas kelkaj gramatikaj karakteroj de la aina.

- ① Se la unua silabo finiĝis en konsonanto, la akcento estas ĉe la unua silabo.
- ② Se la unua silabo finiĝis en vokalo, la akcento estas ĉe la dua silabo krom malmultaj kazoj.
- ③ Verboj kunestas kun afikso laŭ subjekto. Tial tiam oni povas forigi subjekton.
- ④ Adjektivo kaj verbo estas samaj. Inter ili oni ne distingas.
- ⑤ La ordo de vortoj estas preskaŭ sama al la japana kaj la korea. Objekto staras antaŭ verbo. Post Prepozicio staras post substantivo.
- ⑥ Kiam transitiva verbo postulas subjekton mem kiel objekton, prefikso, kiu signifas `sin`, estas aldonata al la verbo, kaj la verbo sanĝiĝas netransitiva.
- ⑦ Parto de homa korpo ĉiam havas prefikson pri posedanto kaj sufikson posedatecan.
- ⑧ Oni povas transitivigi netransitivigitan verbon per sufikso aŭ prefikso.
- ⑨ Pronomo pri `ni` ne estas sola. Tio dependas de kio, ĉu `ni` inkluzivas `vi`n.

Ainoj estas supozitaj kiel idoj de praloĝantoj ne nur sur Hokkajdo sed ankaŭ sur la tuta japana insularo. Tamen la japana lingvo diferencas de la aina gramatike. Ĉ. 200 a.k. venis nova popolo al la japana insularo, kaj la lingvo de loĝantoj renversiĝis, tiel mi konjektas. Japanaj vortoj pri spiritaj aferoj estas komunaj inter la aina kaj la japana. (ekz. kamui : kami : dio / aina : japana : esp ) Unu filozofo diris ke tiu fakto estas pruvo de ilia praloĝo.

Ni esperantistoj en Hokkajdo provas kunlabori ainojn por lingva rajto. Sed plimulto el ili ne havas intereson pri Esperanto, ĉar ili pensas ke la angla lingvo estas internacia lingvo, samkiel plimulto de japanoj pensas. En la mondo komenciĝis movado funkciigi Esperanton kiel pontolingvo por indiĝenoj. Tiu movado nomiĝas `Indiĝenaj Dialogoj`. Nia kolego jam kontaktis kun ĝi. Ni frontas al la sojlo, kie Esperanto vivos kiel ne nur lingvo internacia, sed ankaŭ intergenta, interkultura.

プラハ宣言沖縄語訳にご協力いただいた 比嘉 清さんから

横山 裕之 様

>Subject: プラハ宣言沖縄語版について

お返事が遅れまして申し訳ございません。  
エスペラントが小言語を守る精神である  
ことや取り立てて沖縄語版プラハ宣言を  
広く紹介して頂いていることに大変感動  
いたしております。

私は一市民、一素人に過ぎませんが、こ  
れほどの大きな組織（世界エスペラント  
協会）が沖縄語だけでなく、沖縄の基地  
問題にも関心を寄せられていることに、  
表現のしようもないほど心から感銘を受  
け、勇気づけられます。

ほんとうにありがとうございます。

私もできるかぎり、エスペラントの方々  
から励ましを受けていることを沖縄の友  
人知人に知らせます。どうか、日本エス  
ペラント学会の柴山理事長や Renato

Corsetti 会長に感謝の意をお伝えください。

話は変わりますが、昨年12月に南  
風原町の文化センターにて、「ぴりんぱ  
らんウチナアグチ学校」（毎週木曜日 PM  
8～10時）を開設して楽しんでいます。

「学校」とはとっても、互いに沖縄語を  
しゃべって楽しむサークルです。中心は  
三味線弾きの比嘉バイロンさん。20代  
から60代まで、看護婦さん、バスガイ  
ドさんから、文化人まで約30名（常時  
20名程度）が、昔の役者のテープを聞  
いたり、戯曲を読み合わせしたり、わい  
わいがやがやと過ごしています。会費無  
料、出入り自由と、テーマは毎週決めて  
いるつもりでも、自由度が高く、質問に  
振り回されて「脱線がひどい」のがこの  
サークルの特徴でしょうか。

ではまた。

比嘉 清

...Mi estas tre kortusita ke Esperanto estas spirito gardi etajn lingvojn, kaj ke vi vaste prezentas la Manifeston de Prago en la okinava lingvo. Kaj nur maleminentan civilizon min tiel impresas kaj kuraĝigas, ke tiel granda organizo kiel UEA etendas sian intereson ne nur pri la okinava lingvo, sed ankaŭ pri la problemo de la usona armea bazo en Okinavo. Mi elkore dankas. Mi informos miajn amikojn kaj konatojn laŭ mia kapablo, ke anoj de Esperanto kuraĝigas min..... Ni instalas la semajnan rondon de la okinava lingvo. Ĝin venas diversaj personoj, ekzemple, mizikisto, flegitino, aŭtobusa ĉiĉeronino, intelektulo. Ni ĉiuj tiel libere amuzas, ke fiksita temo ĉiam flugas flanken. Do, ĝis.

HIGA Kiyosi

## Manifesto de Prago en la Okinava lingvo

### 沖縄語版プラハ宣言 その後

北海道大会で配布した沖縄語版プラハ宣言につきましては、以下のところに、日本語のホームページを作って公開しておりました。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/ip/prago/pragooki.htm>

先日、(財)日本エスペラント学会(JEI)の柴山理事長が、世界エスペラント協会(UEA)のネットリストにこのホームページを紹介したいのだが、「沖縄」と言ってもどこか知らないエスペランチストが多いと思うので、(エスペラントで)補足説明をして欲しいという申し出がありました。

それで、「沖縄」の場所も知らない世界中の一般のエスペランチスト向けに、エスペラントと沖縄語(プラハ宣言本文)で、以下のところにエスペラントによる「沖縄」の補足説明を加えた沖縄語版プラハ宣言のホームページを作りました。

エスペラントによる「沖縄基地問題」のページにもリンクしてます。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/prago/pragooki.htm>

その後、柴山理事長を通じて、世界エスペラント協会の Renato Corsetti 会長から以下のメッセージがありました。

ここに改めて、皆さんにお知らせします。

Dankon, Sibayama, pro la informo kaj

dankon al la tradukinto.

Vidu la manifeston kaj ties grafikan prezenton en la Okinava lingvo Mi vidis g'in. G'i estas tre bele prezentita.

Se vi povas arang'i sendadon al mi de unu ekzemplero papera, mi zorgos por ke g'i estu konservata en UEA, kaj lau'pete disponigata al bezonantoj.

*>La paghoj estis pretigitaj de samideanoj, ne de Okinavo, sed de Hokkajdo, la norda parto de Japanio, kie estas 'ajniua lingvo' en vivdanghero. La samideanoj ankaŭ deziras fari ties version, mi aŭdis.*

Bonvolu kurag'igi ilin pri tio ankaŭ mianome. Esperanto ja estas lingvo por protekti malgrandajn lingvojn ne por mortigi ilin.

Amike Renato Corsetti

Via del Castello, 1IT-00036 Palestrina, Italujo

<[renato.corsetti@esperanto.org](mailto:renato.corsetti@esperanto.org)>

エスペラントは、小言語を消滅させるためではなく、守るための言語であるという考えは、プラハ宣言の精神にあるように、その通りであると考えます。

柴山さんからのご依頼もありましたので、

ご希望どおり、Renato Corsetti さんへは、  
沖縄版プラハ宣言の紙に印刷したものを、  
体裁を整え、送付する予定です。

En lasta Hokkajda Kongreso de  
Esperanto oni donis la Manifeston de  
Prago en Okinava Lingvo al  
partoprenantoj.

Lastatempe s-ro Sibayama, direktoro  
de Japana Esperanto-Instituto (JEI),  
petis, mi faru la ret-paghon pri la  
Okinava Manifesto kun la klarigo de  
Okinavo por Esperantisto en la tuta  
mondo, kaj sendu al d-ro Renato  
Corsetti, prezidanto de Universala  
Esperanto-Asocio (UEA), unu  
ekzempleron paperan pri ghi.

Do ni faris la ret-paghon jene.

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/prago/pragooki.htm>

La pagho povas aliri al la retpaghon pri  
"Problemoj de Usonaj Militbazoj en  
Okinavo".

Poste mi ricevis jenan retleteron de d-  
ro Renato tra s-ro Sibayama jene:

----- d-ro Renato skribis -----

Dankon, Sibayama, pro la informo kaj  
dankon al la tradukinto.

Vidu la manifeston kaj ties grafikan  
prezenton en la Okinava lingvo Mi vidis  
g'in. G'i estas tre bele prezentita.

Se vi povas arang'i sendadon al mi de  
unu ekzemplero papera, mi zorgos por  
ke g'i estu konservata en UEA, kaj  
lau'pete disponigata al bezonantoj.

>La paghoj estis pretigitaj de  
samideanoj, ne de Okinavo, sed de  
Hokkajdo, la norda parto de Japanio, kie  
estas 'ajnua lingvo' en vivdanghero.  
La samideanoj ankau deziras fari ties  
version, mi aŭdis.

Bonvolu kurag'igi ilin pri tio ankaŭ  
mianome. Esperanto ja estas lingvo por  
protekti malgrandajn lingvojn ne por  
mortigi ilin.

Amike Renato Corsetti

Via del Castello, 1IT-00036 Palestrina,  
Italujo

<[renato.corsetti@esperanto.org](mailto:renato.corsetti@esperanto.org)>

----- ghis -----

Ankauh lauh mia penso prave estas ke  
Esperanto ja estas lingvo por protekti  
malgrandajn lingvojn ne por mortigi ilin.  
Tio trovighas en la intenco por la  
Manifesto de Prago. Kaj mi sendos al li  
unu ekzempleron paperan pri ghi.

Raportanto --- JOKOJAMA Hirojuki,  
ano de HEL

(報告・文責 - 横山)



## **Alvoko kaj atesto de Ramallah, Palestino**

侵攻下のパレスチナ・ラマラ市からの通信

esperantigis Djemil Kessous, 日本語訳：星田 淳

エルサレムの北 16 km, イスラエル軍占領下のラマラ周辺の状況報告に関するメールを入手しましたので、紹介します。

①ALVOKO KAJ ATESTO DE RAMALLAH Date: Mon, 01 Apr 2002 19:16:28

ラマラからの呼びかけと証言 (4月1日19時16分グリニッチ時間)

Al vi ĉiuj Mi estas la estrino de la kultura centro Khalil Sakakini de Ramallah( <http://www.sakakini.org> ). Sieĝita hejme en Ramallah, mi sendas tiun mesaĝon al ĵurnalistoj, amikoj kaj aliaj personoj por peti de ili, ke ili redissendu tiun mesaĝon al aliaj personoj. Mi esperas ke ĝi ne okazigos kunĉenon de ret-poŝtoj por estigi kompaton, peti preĝojn aŭ donacojn, sed prefere agojn. Ni prenas sur nin nian parton rezistante aŭ restante konstantaj en la malfavoreco kaj ni demandas al la aliaj de l'tutmondo, ke ili prenas sur sin sian parton nome de l'homaro, al kiu ni ĉiuj apartenas.

Ni ne volas fariĝi la ruĝhautuloj de la araba mondo, ni tutsimple volas vivi liberaj sur tiu tero, pace kaj digne. Mi komencos per rapida superflugo pri la situacio, << rekte >>, kaj mi proponos al vi 9 sugestoj pri tio, kion ni ŝatus vidi realigi en la amaskomunikiloj kal aliloke en la mondo. Jam antaŭe, tiun vesperon, dimanĉon, ni eksciis laŭ pluraj fontoj, ke la israelaj soldatoj mortpafis senemocie 30 palestinajn policistojn enkonstruaĵo ĉe l'strato Irssal de Ramallah kie ili estis rifuĝinta. Tio sekvas la murdon de 5 palestinaj policistoj mortigitaj per kugloj en la kapokaj kies korpoj estis ĵetitaj en la strato kaj tie postrestis dum horoj vendredon. Oni malhelpas la ambulancojn atingi siajn celojn kaj la israelanoj perforte eniris hospitalon (Arabcare) kaj pafis en alian (Nazer Maternity Hospital). Se la afero daŭras, tio estos alia Ĉeĉenio aŭ alia Sarajevo. Koncernas min, mi estas izoligita hejme de vendrede matene, samkiel dekmiloj da loĝantoj de Ramallah kaj El-Bireh, sen ebleco ke tio baldaŭ finiĝos. Ni ne havis elektron dum unu tagon, sed dank'al Dio, la hodiaŭan dimanĉon, la elektron refunkciis. La israela armeo eniris hieraŭ en vilaĝo Kobar kie loĝas unu niaj dungitoj de l'centro Sakakini.

Ĝi detruis liajn posedaĵojn kaj enkarcerigis lian plej junan fraton kun 30 junuloj de l'vilaĝo.

La purigistino de nia centro loĝas en domo kies necesejo estas ekstere.

Dum 3 tagoj la israelanoj postenigis ĉe ŝia pordo malhelpante ĉian eliradon. Kiam la unuenaskito de l'familio elŝoviĝis por atingi la eksteran necesejon, ili kaptis kaj frapis

lin. Lia patro, instruisto, provis interveni, la israelanoj frapis kaj arestis lin. Iu el la anoj de l'konsilantaro de nia centro estis arestita kun ĉiuj dungitoj de la ofickonstruaĵo kie li laboris la ĵaŭdan vesperon malfrue. Al ĉiuj ili oni vindis la okulojn kaj kunligis la manojn, oni izoligis ilin en ĉambro dum 16 horoj. La israelanoj detruis oficmeblaron kaj stelis la fiksjajn diskojn de la komputiloj. Ĉiuj ili sin malligis, kiam ili konsciis, ke la israelanoj estis foriritaj por serĉi pli interesan predon. Mia bopatro, lia edzino kaj iliaj tri infanoj malpli ol dekjaraĝaj havas nek telefonon nek elektron de post vendredo kaj ne povas foriri por vivi ĉe aliulo car oni pafos ilin.

La patro de mia tuja najbarino estas 70jaraĝa kaj loĝas apud la oficejo de Arafat. La israelanoj entrudigis lian hejmon vendredon kaj ĉion rompis per pafilkapo (televidilon, meblaron, lavkuvon, ktp). Oni ankaŭ diras ke israelaj soldatoj eniris bankojn, mongsanĝajn oficejojn kaj juvelvendejojn kaj stelis monon kaj juvelojn.

Sabaton en El Bireh, ili arestis 150 virojn inter 16 k. 45 jaraĝaj, post ke ili aŭtoritate ordoni ke ili eliru kaj grupigis ilin en la malnovan urbon de Ramallah. La sola loka televida stacio (Watan TV), kiu trandonis al ni ĉiuhorajn bultenojn estis vendredon konfiskita de la israelanoj, kiu denun elsendas pornografiajn filmojn. La ĵurnalistoj devis eliri Ramallah hodiaŭan dimanĉon.

Ĉi-sube vi trovos 9 sugestojn kaj petojn modestajn kaj utopiajn :

1- Temas pri longa sieĝado, ni petas ke vi faru daŭrajn premojn, raportu niajn rakontojn kaj lanĉu alvokojn por senĉesaj agadoj.

2- La administra direktorino responsa pri l'financoj de la centro, Sino Manal Issa, akceptis preskaŭ 10 atestojn de infanoj de sia ĉirkaŭaĵo, kiu rakontas la vivajn kondiĉojn dum la sieĝo kaj la desegnojn, kiujn ŝi skanis. Oni povas havigi al si tiujn atestojn skribante al [issamanal@yahoo.com](mailto:issamanal@yahoo.com). Mi ilin angligos morgaŭ kaj sendos al vi. Mi petas al la personoj kiu ricevas tiun ret-poston ĉu per rekta sendado, ĉu per retranssendo, ke ili petas de ni kopiojn pri tiuj atestoj kaj ke ili dissendos ilin kiel eble plej amplekse (vidu ĉi-poste).

3- Bonvolu praktiki premon sur la internacian komunumon kaj sur la cefrolulojn por forigi la sieĝon, kiun ni suferas. Ni bezonas dekojn kaj milojn da leteroj al la Blanka Domo.

[president@whitehouse.gov](mailto:president@whitehouse.gov) et [vice.president@whitehouse.gov](mailto:vice.president@whitehouse.gov)

4- Se vi ne volas tion fari, bonvolu skribi al la usonaj grandaj ĵurnaloj pri la sieĝo.

5- Necesas ĉiutagaj manifestacioj antaŭ la israelaj ambasadoj.

6- Necesas alvokoj de la arabaj artistoj al la artistoj el la okcidenta Eŭropo por ke ili organizas koncertojn, manifestaciojn kaj alvokojn al ĉefroluloj por forigi la sieĝon.

7- Ni bezonas ke la artistoj el Okcidenta Eŭropo agadu kaj okazigu eventojn por peti la forigon de la sieĝo kiun ni spertas.

8- Se vi laboras por revuo, bonvolu dediĉi placon al ĉiutagaj novaĵoj pri la sieĝo,

intervjui atestantojn de l'subpremado aŭ de la sieĝo, dissendu atestojn de infanoj kaj informojn devenantajn de la hospitaloj.

9- Vi povas ricevi informojn pri la ruina sansituacio alvokante la hospitalon de Ramallah por paroli kun la Dr Atari (direktoro) aŭ kun la vic-ministro de l'sano kiu troviĝas tie (Dr Munther Sharif) aŭ (972 2) 298 2220.

10- Donu al ni viajn sugestojn por agi kaj diru al ni kion necesas por helpi nin. Dankon al Muharraq klubo, al TV stacioj de Bahrein kaj al Nadwat al Thaqafa de Dubai, kiuj jam aŭskultis nin. Dankon al ge-ĉiuj, ni esperas, ke ni baldaŭ havos novaĵojn el vi.

Adila Laidi ( francigita de Daniele Ouanes en Montreal, poste esperantigita (el la franca) de Djemil Kessous en Parizo.)

皆さん、私はラマラの Khalil Sakakini 文化センターの理事長（女性）です。

占領下のラマラの自宅からこのメッセージを送ります。ほかの方々に知らせてください。同情や祈り、恵みを求めるものではありません、行動を期待します。

苦難の中にあってそれに抵抗しつつ私たちは私たちの務めを果たします、皆さんも同じ人類の一人としての務めを果たしてください。

私たちは、米国で白人に虐殺されたインディアンのようにはなりたくない、ただこの土地で平和に、人間としての尊厳をもって自由に生きて行きたいのです。

現在の情勢をざっと述べてみます、以下の9点は外の世界のマスコミに反映してほしいと思っています。

日曜日の今夜（3月31日）イスラエル兵はラマラの Irssal 通りの建物に避難していたパレスチナ警察隊員30人を射殺したとの情報が入りました。これは金曜日の、警察隊員5人が頭を撃たれて殺され、遺体は路上に放置されていたとの情報に続くものです。救急車の走行は妨害され、イスラエル兵は Arabcare 病院に乱入し、Nazer Maternity 病院には銃弾を撃ち込みました。この状態が続くなら、ここは第2のチェチェンかサラエボになるでしょう。

私は金曜日以来ほかのラマラとエルビレの何万人の住民と同様に、自宅に閉じこもっています。これがいつまで続くかわかりません。まる1日停電していたが、幸い今日の日曜日、電気が来ました。イスラエル軍は昨日、このサカキニ文化センターの一職員が住んでいる Kobar 村に侵入し、彼の家を壊し、彼の末の弟など村の若者30人を拘束しました。

このセンターの掃除のおばさんの住んでいる家のトイレは戸外にあります。

イスラエル兵はまる3日間外に張り付き、一切の外出を禁止しました。その家の長男がトイレに出たら、彼らはその子を捕まえて殴りました。それを止めようとした父親（教師）も殴られ逮捕されました。このセンターの役員1人も、木曜日の夜、動めていた職場にいた人たち全員と一緒に逮捕されました。

全員目隠しされ数珠つなぎにされて16時間一室に監禁されたのです。

イスラエル人は事務所の備品を壊し、コンピュータのディスクを盗んでいきました。

イスラエル人たちが次の獲物を求めて立ち去ったあとでやっと、監禁された人たちはロープを解いて自由になれたのです。私の舅、姑は子供3人と一緒に金曜日以来電話も電気も使えず、出れば射たれるので人に世話を頼むこともできませんでした。

すぐとなりの女性の、70才の父親は、アラファトの事務所の側に住んでいますが、イスラエル兵が侵入してきてテレビや家具などを銃床でたたき壊しました。

イスラエル兵は銀行、両替所や宝石店にも侵入して、お金や宝石を盗んでいったそうです。

土曜日エルピレでは16才から45才までの男性150人が逮捕されラマラの旧市街に移されました。毎時ニュースを流していたこの地域ただ一つのテレビ局(ワタンテレビ)はイスラエルに接收され、今はポルノ映画を流しています。

今日(3月31日)全報道関係者にラマラからの退去が命令されました。

次の項目は私たちのお願いです。

- 1- 私たちの便りを広く報道してください。
- 2- 子供たちの証言や、占領中のまわりの様子を子供が描いた絵があります。希望の方には英訳文と画像を送ります。広く報道してください。  
issamanal@yahoo.com
- 3- 我々が苦しんでいる占領を早く止めさせるように国際社会と、その指導者たちに働きかけてください。ホホワイトハウスに手紙を集中させましょう。
- 4- 米国の大新聞に占領のことを書き送ってください。
- 5- イスラエル大使館に連日のデモを。
- 6- アラブのアーティストは西欧のアーティストに呼びかけてコンサートやデモを組織し、占領を止めさせるように指導者たちに呼びかけましょう。
- 7- 西欧のアーティストは占領を止めるように求める行動と請願を計画してください。
- 8- 新聞編集者の方へ：占領のニュースにスペースを取って子供たちの証言やイスラエル軍に襲撃された病院からのニュースを入れてください。
- 9- 破壊された病院の状況についてはラマラの病院の責任者たち(氏名、電話番号)に問い合わせることができます。
- 10- さらに効果的なアイデアをお持ちの方はお知らせください。

\*注) Sakakini Kultur-Centro, 前身はパレスチナ

自治政府の文化省に当たる仕事もしていたところが、後独立してNGOになったもの  
esperantigita (el la franca) de Djemil Kessous en Parizo.)

## ②ATESTOJ DE INFANOJ

イスラエル軍占領下のラマラ (RAMALLAH) から ---子供たちの証言

Al vi ĉiuj, Mi estas la estrino de l'kultura centro Khalil Sakakini de Ramallah, mi skribas al vi de mia hejmo dum la sieĝo.

Vi trovos ĉi-kune 13 mallongajn atestojn de palestinaj infanoj, kiuj vivas sub la sieĝo en Ramallah. Bonvolu tuj publikigi kaj dissendi ilin.

Tiuj atestoj estis transskribitaj al la araba far Sino Manal Issa, komisiita al financoj kaj al la administrado de l'centro Sakakini, kaj ili estis tradukitaj al la angla post al la franca kaj **esperanta**. Ni esperas ke vi povos ilin publikigi kiel « momentfotojn »

pri la sorto, kiu estas nia, ni la palestinanoj sieĝigitaj de la israelanoj.

Dankon kaj saluton. Dimanĉon, la 30an de marto 2002.

皆さん、私、Khalil Sakakini は、文化センターの理事長（女性）で、占領下のラマラの自宅でのメールを書いています。

以下はラマラに住む13人のパレスチナの子供たちの証言です。報道してください。

この証言はアラブ語の原文で Sakakini 文化センターに託され、フランス語、エスペラント、英語に訳されました。イスラエル占領下のパレスチナ人の《現場写真》として発表してください。

2002年3月30日、日曜日

Mi nomiĝas Alayyan Zayed, mi estas 9 jaraĝa. Mi ne povas ludi en mia korto. Mi ne povas eliri antaŭ la enirpodo de mia domo pro la dormosignalo (malpermeso). Mi kaŝis miajn ludilojn ĉar mi timas ke la israelaj soldatoj kaptas min tial ke mi havas ludpafilojn kaj ludtankojn. Mi eĉ ne povas iri al la vendejo aĉeti bombonojn pro la dormosignalo. 私は Alayyan Zayed, 9才です。今は家の庭でも遊べない。戸から外へ出るのも禁止されている。イスラエル兵に捕まらないようにおもちゃをかくしました、だって僕はおもちゃの銃やタンクを持っているから。外出禁止だから、お菓子を買うにも行けない。

Jen leteron de Rana al la tutmondo : tiumomente mia patro estas for. Kiam mi rimarkis la unuan fojon, ke mia fratino kaj mia patrino ploris antaŭ la televidilo kie oni vidis israelajn soldatojn, kiuj mortigis la virojn, kiujn ili estis arestitaj, mi kredis ke mia pacjo estis unu el ili. Mi komencis plori kaj plori kaj post unu minuto mi min demandis kial mi ploras, tio estas nia destino. Mia patro estas policisto kaj ni devas rezisti.

Rana から世界への手紙です：お父さんは外に出ている。姉さんとお母さんがテレビを見て泣いていた。イスラエル兵が男の人たちをつかまえ、殺すところが出ていた。お父さんもそこにいたんだ、と思って私も泣いた。だけど、なぜ泣くのだろう、と私は考えた。これは私たちの運命なんだ。お父さんは警官です、私たちは抵抗しなければならない。

Mi nomiĝas Lema Zayed, mi estas 11jaraĝa : mi volas vizitadi la lernejon, fini mian studadon tiun jaron. Mi volas esti libera somere, iri naĝi kaj amuziĝi. Mi volas ke la israelaj soldatoj foriras el nia lando, ĉesigas la okupacion kaj haltas uzi tiujn dikajn tankojn. Ni havas nenion por alfronti ilin. Mi ne volas ke ili okupaciu niajn domojn aŭ ke ili pafas obusojn kontraŭ ilin.

私は Lema Zayed, 11才です：学校へ行きたい、今年の（今学期の？）授業を済ませたい。夏休みには泳いだり遊んだりしたい。イスラエル兵がいなくなり、占領が終わってあの大きなタンクも帰ってしまえばいい。今私たちは何もできない。私たちの家を占領したり砲撃したりするのは止めてほしい。

Mi nomiĝas Ahmed Tuqan, mi estas 7jaraĝa. De kiam komencis la intifada, ni komencis transloĝiĝi de unu domo al la alia. Ĉiusemajne, ni loĝas en diferenca domo.



La israelanoj eniras la domojn kaj timigas la homojn. Kiam ili eniris Jerusalemon ni transloĝiĝis al Ramallah kaj kiam ili eniris Ramallah-on ni transloĝiĝis al Jerusalemo.

私は Ahmed Tuqan, 7才です。インティファダが始まったときから、私たちは家から家へと移り住んでいます。毎週、私たちは違った家にいる。イスラエル兵は家に入ってきて人々をおどしている。彼らがエルサレムに帰れば私たちはラマラに移り、彼らがラマラに来れば、私たちはエルサレムに移る。

Mustafa Mulhem, 8jaraga : mi volas danki la fremdajn landojn ĉar ili volas helpi la palestinajn infanojn. Nia situacio estas ege malbona. Niaj urboj estas okupaciitaj. Mi estas en Ramallah, tio estas la tuta okupacio far la israelaj soldatoj, la urbo estas plenplena de tankoj kaj militaj vehikloj. Mi estas afliktita por la suhadaj (mortintoj) kaj la vunditoj sed niaj hospitaloj kaj kuracistoj nin protektos.

Mustafa Mulhem, 8才 : パレスチナの子供たちに援助してくれる外国の人たち、ありがとう。今の様子はとてもひどい。私たちの町ラマラはイスラエル兵に占領されていて、町中タンクや軍用車でいっぱいです。死傷者が出て、私は悲しい。だけど病院やお医者さんが私たちを守ってくれるでしょう。

Mi nomiĝas Ala' Jibrin, mi estas 12jaraĝa : mi loĝas en Ramallah en unuĉambra domo. Ne estas necesejo, do ni uzas la eksteran necesejon de niaj najbaroj, 30 metrojn for de nia hejmo. La israelaj soldatoj malhelpos nin tien iri aŭ iri al la kuirejo, kiu ankaŭ estas ekstere de nia domo. Ni ec ne povas kuiri la pladojn. Ni estas ok gefratoj en tiu malfacila situacio. Ni komprenas nenion al tio kaj ni ne scias kion fari, se ni eliros, ili eble pafos nin. Plie la soldatoj ĵetas siajn rubojn, fekas kaj pisas antaŭ nia enirpordo. La elektro estas malsaltita de hieraŭ. Ni nervozigas kaj tio estas psike malfacila situacio. Ni petas de Dio kaj de ĉiu homo sur tiu tero, kiu havas homan senton, ke ĝi intermetas kaj finigas tiun kosmaron, kiun spertas la palestinaj infanoj.

私は Ala' Jibrin, 12才です : ラマラの1部屋の家に住んでいます。トイレはないので30メートル離れた外のトイレを使っています。そこへ行くのも、やはり外にある台所を使うのもイスラエル兵に邪魔されます。食事の支度もできません。こんな状態で私たち8人兄弟が暮らしています。何でこうなのか、どうしたらいいのか、私たちはわからない。外に出たら、イスラエル兵が射つでしょう。

その上兵隊たちはゴミを散らかし、家の戸の前に大小便をしていく。昨日は停電でした。みんなイライラして落ち着かなかった。神様、それから地上の人間の気持ちのある人たち、パレスチナの子供たちのこの悪夢のような状態を早く終わらせてください。

Mi nomiĝas Yanal Zayed, mi estas 4jaraĝa. Mi volas naĝi. Mi volas esti hejme, havi domon kaj fenestron por rigardi eksteren.

わたしは Yanal Zayed, 4才です。泳ぎたい。外が見える窓のある家がほしい。

Mi nomiĝas Sara Atrash, mi estas 5jaraĝa, Panjo, mi amas vin.

私は Sara Atrash, 5才です。お母さん、大好きよ。

**Heba Burkan** : 12jaraĝa: Ni deziras fervore la pacon kaj liberecon.

Ni volas amon kaj korinklinon. Donu al ni nian infanecon kaj la liberecon. Dimanĉon, la 31an de marto 2002.

Heba Burkan, 12才: 平和と自由がほしい。愛がほしい。子供らしく自由に生きたい。

2002年3月31日

**Ahmed Atrash**, 8jaraĝa : Tio estas ege peniga situacio. Mi enuas. Miaj gepatroj ne permesas ke mi ludu en la korto. Ili ne permesas ke mi rigardu la televidilon ĉar ili rigardas la novaĵojn. Mi estas malĝoja por la suhadaj (mortintoj) kaj mi estis ankoraŭ pli malĝoja kiam mi aŭskultis ke ilia kvanto kreskis. Sed mi ne ludas kun miaj amikoj en la kvartalo. Mia nura deziro estas ke la israelaj soldatoj foriras el mia lando kaj tio estas la plej bona deziro, kiun mi lanĉas.

Ahmed Atrash, 8才: とてもひどい一退屈です。お父さん、お母さんは庭で遊んだらだめだって。ニュースを見るんだからってテレビも(好きな番組を)見せてくれない。死んだ人がどんどん増えている、と聞いて悲しい。近所の友達とも遊べない。イスラエル兵が私の国からいなくなることを、これが私のたった一つの、最高のお願いです。

**Ala' Jibrin**, 12jaraĝa : kiam oni dormis, oni aŭdis bruon de rompita vitro. Ni rigardis tra l'fenestro kaj vidis israelaj soldatoj kiuj rompis la vitroj de aŭtomobiloj kaj kiu sxtelis CD-aparatojn. Ili rompis la vitrojn de nia aŭto sed, dank'al Dio, ne ŝtelis nian aparaton. La matenon, 15soldatoj eniris hejmen kriante. Ili ĉion renversis, ili arestis mian patron kaj gardis nin en nia kuirejeto ekstere de nia domo. Mi kredas ke ili forkondukis mian patron ĉar li havis palestinan flagon. Mi vidis ilin frapi fortege la virojn, kiujn ili arestis. Ĉu tio ne estas esence terorismo, oh Dio mia !

Ala' Jibrin, 12才: 寝ていたらガラスが割れる音がした。窓の外を見たらイスラエル兵が車の窓ガラスを割ってCDセットを盗み出すところだった。家の車もガラスを割られたが、神様のおかげで、セットは盗まれなかった。朝、兵隊15人が怒鳴りながら家に入り込み何もかもぶち壊していった。お父さんを連れ出し、外の台所から私たちを見張っている。お父さんはパレスチナの旗をもっていたから引っ張られたんだと思う。やつらが捕まえた人たちをぶん殴っているのが見えた。これって、テロでないの、神様!

**Mizer Jibrin**, 15jaraĝa (frato de Ala). La israelaj soldatoj malhelpis nin eliri por iri al kuirejo aŭ al necejo. Ni estis en nekredebla situacio. Tial ke la necesejo estas for de la domo, miaj pli junaj fratinoj uzis malplenan rubujon. Mi rifuzis kaj insistis por iri al la necesejo ekstere. Miaj gepatroj provis malhelpi min, kaj ĉar mi insistis, ili konsentis dirante al mi ke mi atentu. Kiam mi estis finiĝinta en la necesejo, la soldatoj estis ĉirkaŭinta min kaj demandis ke mi levu la manojn. Unu el ili pisis min kaj komencis pridemandi min : kion ci faras, kiu ci nomigas, kiom aga ci estas ? Mi respondis kaj il

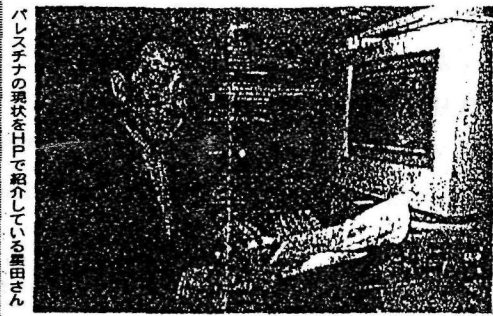
estis frapontaj min, kiam mia patro kriis : « haltu, haltu, li estas nur infano, kiu eliris por iri al la necesejo ». Ili relasis min kaj entrudigis hejmen. Ili enkarcerigis miajn gefratojn kaj min en nia kuirejeto kaj detruis niajn posedaĵojn. Ili arestis mian patron kaj frapis lin kun aliajn virojn. Poste, ili kovris iliajn kapojn per plastaj sakoj forkondukante ilin al nekonata celo. Mi konis la okupacion kaj neniam forgesis, neniam. Mi volas diri ĉesigu vian okupacion, ĉesigu vian tiranecon kaj ĉesigu viajn mortigadojn, ĉesigu.

Mizer Jibrin, 15 才 (Ala の兄)。イスラエル兵は私たちが外の台所やトイレに行くのも邪魔している。信じられないような状態です。外のトイレに行けないので妹たちは空のゴミ箱で用を足している。僕はそんなの嫌だ、トイレに行く、とがんばった。父母は「止めろ」、と言ったが、僕が突っ張ったので、「気をつけて行けよ」、と言ってくれた。外で用を済ましたら兵隊が僕を囲んで「手をあげろ」と言った。1 人が僕を小突いて「何をしている、名前は？年齢は？」と訊問する。やり取りするうち、兵隊が僕を殴ろうとしたとき、家から父が、「止めろよ、子供じゃないか、トイレに行っただけなんだ」と叫んだ。彼らは僕から離れて家に入り込み、きょうだいたちを台所に閉じ込め、家の中のものをぶち壊した。お父さんを連れ出し、ほかの引っ張られた人たちと一緒に殴っていた。やつらはその人たちの頭にプラスチックの袋をかぶせてどこかへ引っ張っていった。これが占領なんだ、絶対忘れないぞ。僕は言いたいー占領を止めろ、乱暴を止めろ、人殺しを止めろ、止めろ。

Alayyan Zayed, 9jaraĝa : la israelaj soldatoj mortigas la junajn virojn kaj timigas la infanojn. Ili enkarcerigas la palestinajn soldatojn kaj mortigas la ĵurnalistojn. Subtenu nin kaj protektu nin. Dankon por cirkuligi kaj amplekse dissendi.

Alayyan Zayed, 9 才 : イスラエル兵は青年達を殺し、子供たちをおどかしている。彼らはパレスチナ兵たちを監禁し、記者たちを殺している。私たちを守ってください。このことをみんなに知らせてくださ

星田さん Esperanto 会のエス小牧



街の惨状など詳しく

パレスチナの現状を口で紹介している星田さん  
 星田さんがメールに気付いたのは四月十二日。差出人はヨルダン川西岸のラマラにあるNGO団体「ハイル・サカキニ文化センター」の女性理事長。当時、ラマラではパレスチナ自治政府のアラファト議長がイスラエル軍に監禁状態にあった。内容は「マナは軍用車でいっばい、死傷者などが出て悲しい」(八割)など、ラマラに住む十三人のパレスチナの子供の悲痛な叫びが紹介されている。  
 エスペラント語は一八八七年、ポランド人サモンホフが万国共通語としてつくった人工語。星田さんは道内でのエスペラント語の普及に取り組み、現在はインターネットなどを通じて国際交流を図っている。  
 送られたメールを数日かけて日本語に訳した星田さんは一文章から最初級の手紙が伝わってくる。パレスチナの現状を知ってほしいと訴えている。HPのURLは  
 http://www.s.d.biglobe.ne.jp/~ho/jp/axsida/ramalah.htm

イスラエルにもパレスチナ自治政府の森町に居る電子メールがこれ。メールは現地のパレスチナ人が送信してアラブ語に翻訳し、四月五日からホームページ上の電子メール翻訳し発信

パレスチナの今  
HPで生々しく

苦小牧

自治体間に温度差

4月17日 三澤正博さんが亡くなりました。

S-ro 三澤正博 (MISAU Masahiro) は1930年東京生まれ、東京外国語大学卒。東大大学院教育学専門課程を終了後の56年北海道教育大助手、76年に教授。比較教育学専攻。85年～88年の間HEL委員長を務められました。2000年4月以来脳梗塞のため療養中でした。

北海タイムズ 1987.5.25

国際的補助語の役割目指し

「エスペラントに庶民が魅力を感じる最大の理由は学びやすさにある。民族語と比べて文法が非常に簡単で、エスペラントを学ぶのに三日もかかった、という笑い話があるくらいです。私が教えた経験では、大学生なら半年学べば、今まで学んできた英語と同じくらいに力がつく、もちろん話すことも、出くるともです。サメンホフ(ポーランドの紙袋区)が作った

略歴

三澤 正博氏(みさわ まさひろ)昭和五年、東京生まれ。東京外国語大学卒。東大大学院教育学専門課程を修了後の三十二年、道教育大助手、五十一年に教授。比較教育学専攻。主として東欧諸国の教育事情を研究。「ポーランドにおける教育養成制度の改革」「戦争をどう教えるか」「邦老(などの)著書のほか」労働学校と総合技術教育「(フランススキー等)などの訳書も。北海道エスペラント連盟副会長。



この言語は、名詞なら語尾が全部で終わるという語調の良さがある

したら都合がいいのではないかと、という論理が出てきます。しかし、

国境のない世界、魅力

半年でほぼマスター

はつきりしている。そんな機能的な文法で民族語のよさを通用するのかがこの疑問を抱き持ったが、一九七二年にロンドンで開かれた世界大会に出席して以来、その疑問が解けた。

「エスペラントでおしゃべりをしていると、それは国境のない世界が生まれる。国際補助語という性格を持ち、支配的な言語ではないからでしょう。よくよく観察すれば、その世界が、それなら民族語は

それはエスペラントの本質ではない。民族語はそれぞれ大切だが、交流の補助的な手段としてエスペラントが使われれば理想だと思ふ。サメンホフの助機は語法による民族間の摩擦を解消するものにもあつた。

東京世界大会で盛り上がり

モスクワにロシア語の研究

「日本では大正から昭和にかけてエスペラントが盛んなりまいた。当時インテリが興味をもち、北大でも先生方がエスペラントをさうなにと演説が交わつた。時代があつたそうす。エスペラントは昭和初期には労働者の手とりなり盛んをかけた。戦後は米ソ対立の中で英語一辺倒になりエスペラントは忘れ去られたが、一九六五年の東京世界大会を契機に再び盛り上がりが出てきました。これは、その時盛んまつてエスペラントを

「私が感じているのは、みんな仕事を持っている人たちの間に、毎年、エスペラントの講習会を開いて普及が奨められていること。たまたま生徒が三、四人でも講習会は開いている。若い人は見向きもしますが、私たちはエスペラントの存在、講習会を組織した人類の理想を求めてエスペラントを学んでいる人がいる」といふことは少なくても知つてもらいたい。

毎年講習会を開いて普及

「世界ではドイツ、フランス、東欧でエスペラントを学んでいる人たちが多い。中国では講習会といえはエスペラントのことで、北京放送局は二十二年毎日本エスペラント放送を停じている。後たがってこれは、日本の、中国のエスペラントで文法まで学ばれたらいいのだと思ふ」

「若い人たちに、これはよく「学生たち」と言、たそがです。



Novaĵoj el Vladivostoko

ウラジオで、二葉亭四迷記念行事

～ チャターエフ氏からのメール ～

oriento@mail.ru

2002/06/12 12:45

Date: Wed, 12 Jun 2002 07:44:23

+0400

From: "Aleksandr Titaev"

<oriento@mail.ru>

Kara samideano 'HO'SIDA Acusi!

Mi kore salutas vin. Kiel vi fartas?

Ĉu vi ricevis nian informilon "La Pacifika Kuriero, 1(16),2002 ?

Koran dankon pro la sendado de viaj ekzempleroj de "Heroldo de HEL".

Mi nun turnas al vi kiel ĉefa delegito de UEA en Japanio por publikigi la novaĵoj en viaj E-revuoj.

I. La Societo de Esploro de Amura Regiono kune kun la Vladivostoka societo de Amikeco kun Japanio kaj Ĝenerala Konsulejo de Japanio en Vladivostoko planas efektiviĝi en Septembro-oktobro 2002 en Vladivostoko la scienc-praktikan seminarion laŭ la temo:

"La Japania diasporo en Vladivostoko kaj rusiaj diasporoj en urboj de Japanio

"Dum seminario oni supozas konsideri la sekvajn demandojn:

1. La historio de japania diasporo en Vladivostoko kiel plej mutnombra

en Rusio

.2 La historio de rusiaj diasporoj en Nagasaki. 'Hakodate kaj aliaj urboj de Japanio.

3. La plej rimarkindaj agintoj de diasporoj, iliaj sortoj kaj posteuloj.

4. La diplomaciaj misioj de ambaŭ landoj; iliaj gvidantoj, personaro, historio de la domoj kaj konstruaĵoj de la misioj ;

5. La ekleziaj konstruaĵoj kaj memorindaj objektoj, iliaj historio, arkitektur-planadaj specialecoj

La organizintoj de seminario esperas ? Ke tiu ĉi projekto estos interesa al kiel Rusia, tiel la japania flankoj, Kaj ĝia efektiviĝo igos ankoraŭ unu paŝo. Laŭ la vojo por firmigi reciprokprofitan kunlaboron de la publiko de niaj landoj.

II la 27-28 an de Junio,2002 en Vladivostoko okazis konferenco, dediĉita al la restado en Vladivostoko de la eminenta aganto de la Japana kulturo FUTABATEI Shimej.

La konferenco pasis surbaze de la Orienta Instituto de La For-Orienta Stata Universitato, kiun partoprenis 50 personoj. La rusian flankon prezentis profesoroj kaj studentoj de la lokaj universitatoj, kaj la Japanian flankon la profesoroj kaj aspirantoj de la Universitatoj kaj Institutoj de



Oosaka kaj Nagano. La ĉefa organizanto estis profesoro MURAKAMI-YOKOTA Takayuki

Universitato de Oosaka., kiu pasintjare perfektis ĝis en Vladivostoko.

La ĝenerala konsulo de Japanio en Vladivostoko s-ro TAKAMACU Akira elpasis dum la solenaj malfermo kaj fermo. La laborlingvoj de la konferenco estis rusa kaj japana.

Unu el raportoj faris Aleksandr TITAJEV, vic-profesoro de la Teknika Universitato, prezidanto de Vladivostoka Esperanto-klubo Pacifiko, kiu rakontis pri la konatiĝo de FUTABATEJ Shimej kun Fedor POSTIKOV, tiama prezidanto de Vladivostoka Esperanto-societo kaj pri la unuaj lecionoj de Esperanto/ donitaj de Fedor POSTNIKOV al FUTABATEJ Shimej kaj pri eldono de la unua lernolibro de Esperanto por japanoj, farita en 1906 kaj pri plua kunlaboro de Rusiaj kaj Japaniaj esperantistoj.

La aliaj raportoj estis dediĉitaj al diversaj aspektoj de la literatura kaj publika agado de FUTABATEJ Shimej, kiel verkisto kaj tradukisto.

Kio koncernas Esperanton la

precipante intereson al ĝi esprimis la Ĝenerala konsulo de Japanio s-ro TAKAMACU. Dum la bankedo estis prezentita en esperanto la verso de Ludoviko de ZAMENHOF. Ho, mia kor fare de studentino de la Supera Popola lernejo,

Estis esprimita deziro post 2 jaroj denove organizi la similan konferencon, kiu povos esti dediĉita al 140-jariĝo de FUTABATEJ Shimej.

III. Dum kelkaj tagoj en la fino de Majo-komenco de Junio en Vladivostoko gastis 2 grandaj Japanaj delegacioj el prefekturo FUKUI kaj urbo Hakodate-ĝemelurbo de Vladivostoko.

Ili venigis al Vladivostoko multe da junaj japanaj arbaretoj- SAKURA, kaj plantis ili kun la rusiaj aktivuloj de La Vladivostoka Societo de Amikeco RUSIO-JAPANIO!"

La unua plantejo situas sur la loko, kie antaŭe troviĝis la japana templo URAZIO HONGANZY (nun tie troviĝas la monumento), kaj la dua en la korto de la UNIVERSITATO.

Ĉiuj eventoj estis bonege reklamitaj de la regionaj amaskomunikiloj.

5月1日は二葉亭四迷がウラジオを訪れて100年めの日でした。

## 抹殺されたエスペランチスト朴憲永

樺山 裕介

9月17日に小泉純一郎首相と金正日総書記会談がおこなわれました。そこで、日本人拉致が確かにあり、そのうち少なくとも8名が死亡しているという北朝鮮側の報告を受け、みんなが衝撃を受けました。誰もが朝鮮半島を凝視している今、北からも南からもタブーとなっている重要人物がエスペランチストであったことを知ってもらうことは無意味ではないだろうと思い、書いてみました。



Dekstre staras Pak Hunyung, vicministro de la Norda Koreio, esperantisto. Maldekstre Kim Ilsung. En 1924 Pak verkis artikolojn esperantaj sur ĵurnaloj, "El ĝardenisto", "Orienta Perlo", "La Skizo de Esperanta Movado en Koreujo", "Nubo Somera", "O, Virino!", kaj "Korea Virina Societo". Li estis mortigita kiel "spiono de usona imperiismo". Ĉu nun vivas esperantisto en la Norda Koreio?

左・金日成主席、右・朴憲永副首相。

朴憲永は1953年か55年に、米国帝国主義のスパイだとされて粛正された。1920年代、20代の朴は共産主義活動のかたわら、新聞記者として、Esperantujanoの筆名でエス文作品を書き、エスペラント教室を指導し、エスペラント団体の再建に尽力した。投獄されても糞を壁に塗ったり食べたりして精神異常を装い、仮釈放されると官憲の目をかいくぐってモスクワへ飛ぶという、筋金入りの活動家であった。

北朝鮮では60年代まではエスペラントが盛んだった。現在では、駐ネパール大使の話によると、古い人の細々とした集まりがある程度だという。

(参考資料 : Miyamoto Masao "Japanaj Vintraj Fabeloj", Doi Ĉieko "Gvidlibro pri Esperanto-Movado en Azio")

Mankas datumoj

Honkonga amiko Bil Mak venis turismi. En nia evento li duŝis nian cerbon per sia intelekta parolo.

今年も小樽の山なかで行われた5月合宿であります。当初は、セルゲイさんに主役を任せるという人選を企画していたのですが、間際になり、函館ロシア人墓地の清掃行事が入って、参加できなくなりました。ところがその時、香港系多国籍人らしきエスペランチストBil Makさんから、この時期に支笏湖などを旅するので、会って何かをしたいと連絡が来たので、5月合宿で一役かってもらうことにしました。

ビルさんは、聞くところによれば、ほぼ独りの力で、香港に世界青年大会を誘致し、実行してのけた精力的かつ有能な人物であります。その大会の宣伝のため、琵琶湖の辺での日韓中青年セミナーの最終日に現れ、そこに私もいたので、初対面ではありませんでした。

宮澤さんと私で、ビルさんから話を引き出して、こちらでかみくだいて表現して参加者に「聴き取る」練習をしてもらいました。ビルさんの流暢な話には、私も途中からついて行けなくなることがあり、皆さんにも、厳しかったかなと感じました。でも、ここでめげることなく、いつか、聴き取れる日が来ると、希望を持ってほしいものです。

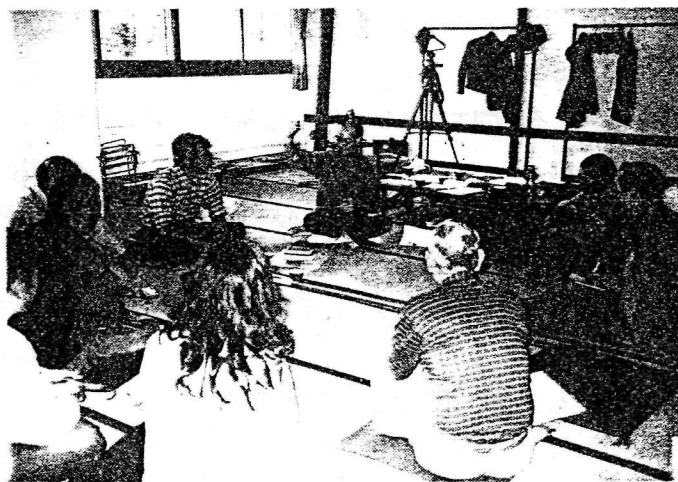
ビルさんは若いのですが、今回は、以前より参加者の平均年齢が高くなり、夜の話題は、主に病気の話でした。

翌日は、恒例の自然散歩で、ここの草木にも、すっかり、なじんできました。植物や鳥のエス名に強くなったのは、ひとつには、この合宿のおかげです。

合宿のあと、宮澤さんがビルさんと私を誘って、札幌市北区麻生から東区「ひのまる公園」までの通りを、骨董品屋やペット屋、おもちゃ屋などをひやかして歩きました。パチンコ店に託児所が付いているのを見つけて説明するときは、盛り上がりすぎてしまいました。（・・・と書いてもピンと来ない方のために説明すると、パチンコに夢中になって、車の中に残してきた子供を暑さで死なせてしまった「バカ親」事件の続発を受けて出来た、珍施設ということですか。）小さな居酒屋で、焼き鳥と日本酒で交歓し、次の朝、短髪の好青年ビルさんは知床へ向かって行きました。

この合宿で、佐藤不二雄さんがJEI検定試験4級に挑戦し、合格しました。

(樺山裕介)



▲ S-ro Bil Mak parolas

← S-ro Bil Mak petolas

## Nekrologo : S-ro OGUMA Eiiçi

6月18日 小熊 鏡一さんが  
亡くなりました。

心不全でした。小熊さんの一面を  
うかがわせる一文を紹介します。

(Heroldo de HEL30号 1989年 より)



私とエスペラント 特集・実年からのエスペラント

### エスペラント学習は負債償還

札幌 小熊 鏡一

初めてエスペラントに接したのは、昭和26年、  
大学3年生の時であつた。

最初の学習会で三十代のエスペランティスト  
ーノが、「皆さんの大部分はこの講座が終る三ヶ  
月後には残つて居ないでせう」と断言した。彼女  
の予言どほりであつた。私は講習には三回出ただ  
け、ベルギーの女教師と始めた文通も二回で終つ  
て了つた。

昭和28年、大学卒業。保安隊（陸上自衛隊の前  
身）入隊。停年は昭和57年。その後6年。実に37  
年間の空白。その間エスペラントは我が心に負債  
となつてゐた。

小坂楯二著“エスペラント<sup>セツパイ</sup>捷徑”は常に書棚に  
在り、昭和31年頃“新撰エス和辞典”、昭和45年  
頃“エスペラント小辞典”がそれぞれ書棚に加は  
り今日に至る。

余命<sup>イキ</sup>幾何もない今になつて、借金は生きて居る  
中に返さねば！ といった心境であらうか？

辞書をめくるのも楽しいものである。

今我国に氾濫して識者の眉をひそめさせてゐる

カタカナ語のルーツらしきものを見出すことが出  
来る。例へば、アンティーク、ブティック、レト  
ロ、ストレッチ、アーバン等々枚挙にいとまあら  
ず、といったところである。

学生時代の英語の先生から教はつた事の一つに  
“日本語の<sup>ドナー</sup>旦那は英語の doner と語源が同じであ  
る”といふのがあつた。エス語には“doni”とい  
ふ語がある。夫たる者、妻子に日々の糧を与へる  
“旦那様” (donantisto) といふわけである。

仏教語で水を“アカ”といふ。又ボートから滲  
水を汲み出す道具を“アカ汲み”といふ。これら  
のアカはエス語の akvo. と同一語源であらう。

辞書を引き乍らも、愉しみはつきない。

ホモ・ルーデンスといふカタカナ語もある。

以上のやうな次第で、エス語学習は私にとつて  
は、負債償還の行為であり、Ludoj の一つでもあ  
る。

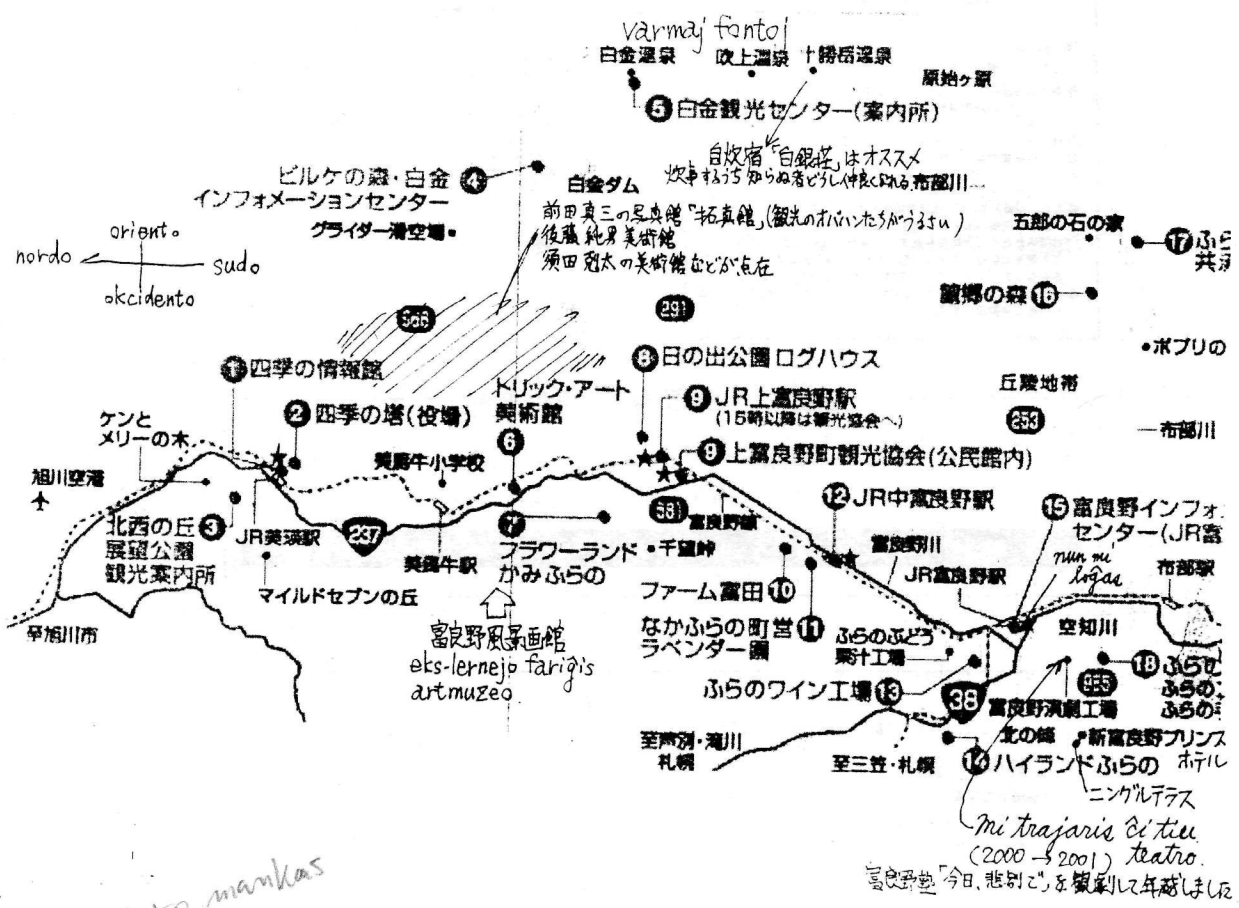
利子が溜りすぎたやうだ。頭が“能力者”（法  
律用語）である中は返済に努めねば！

何とも義理堅いオハナシ。

# Aŭstraliano, Diane, vizitis Hokkajdon

樺山 裕介 (富良野市)

来客のめったにない私の部屋に、いきなり佐藤英治さんと宮沢さん、鈴木さんとポンション君2才、が、オーストラリアのエスペランチスト、ダイアンさんを連れて来ました。カオス状態の6畳の部屋ではどうしようもないので、なじみにしているお好み焼屋「まさや」で食事をしてもらい、元祖ラベンダー畑である富田ファームと、廃校になった小学校をそのまま使った奥田修一画伯の展示館「富良野風景画館」に案内しました。あいにくの雨で十勝連峰が雲に覆われて全く見えなかったのが残念でした。時間があれば大本教院の庭や、東京大学演習林の見本林、後から存在を知ったのですが、工芸職人の森「ニングルテラス」なども見てもらったら良かったのですが、割愛しました。日本人や台湾人なら、雄大さやどこか西洋風の雰囲気求めて来るのですが、大陸から来たダイアンさんからすれば小さいものだったでしょう。田畑を見ては、何の作物か、よく質問されました。ダイアンさんは今、内地で活躍中です。



*dato mankas*

富良野 昨日、悲別を撮影して年越しは返



## 第3回外務省タウン・ミーティング

# 川口外務大臣と語るタウン・ミーティングのご案内

テーマ：「日本の対ロシア外交」



第3回の外務省タウン・ミーティングでは、日本の対ロシア外交を中心に皆様との対話を深めたいと思います。

もちろん、それ以外のご意見やご質問も歓迎します。

外務大臣  
川口 順子

日時：平成14年8月22日(木)  
14:00～16:00 (13:00開場)

会場：京王プラザホテル札幌  
(裏面の地図をご参照下さい。)

#### [申込みのご案内]

入場無料/定員300名

●参加ご希望の方は、Eメールまたはファックスにて別紙の申込みフォームに必要事項をご記入の上、以下の申込み先までお申込みください。

●締切日 平成14年7月31日(水) 必着

●申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

●参加の可否については、入場者証の発送をもって通知とさせていただきます。

●なお、会場入場の際、金属探知機等によるセキュリティー・チェック及び手荷物検査を行います。また、手荷物は原則クロークに預けていただくこととなりますので協力少なくお願いします。ご不便をお掛けして大変恐縮ですが、会場の皆様のご安全を確保する必要がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

●当日は、入場者証のほか、運転免許証等のご本人の確認ができるものをご持参願います。

#### タイムテーブル

14:00 オープニング

川口外務大臣と参加者との  
ディスカッションを中心に  
進めます。

16:00 終了

主催：外務省 協力：北海道、札幌市

問合せ先・参加申込み先：第3回外務省タウン・ミーティング受付事務局 (受付時間9:00～18:00)

〒107-8486 東京都港区赤坂4-9-17 赤坂第1ビル4F

電話：03-3479-5875 ファックス：03-3423-1601 Eメール：sec-tky6@intergroup.co.jp

#### ご質問・ご提案

(会場でご質問、  
ご提案したいことを  
ご記入ください)

※いただいた記載内容については、氏名・住所等の個人情報を除き、公開させていただく場合もありますのでご承知おきください。

連盟宛に外務省から左の案内が届きました。星田委員長と宮沢委員が相談のうえで下の文書を送り、宮沢委員が参加しました。現場での発言はしませんでした。

Propono je la civiliza interparolo kun la diplomatia ministro KAWAGUTI  
pri rilatigo kun Rusio

第3回外務省タウン・ミーティング「川口外務大臣と語るタウン・ミーティング」参加申込書における提案

北海道エスペラント連盟  
事務局次長 宮沢直人

1. 外務省のロシア人に対するビザ発給について、民間交流推進の立場からすみやかかつ簡素化してほしい。
2. 外務省の NGO に対する官僚的対応について、苦情受付、及び事実調査の窓口を設置し、それはできれば第三者委員会であってほしい。

#### <理由・私たちの経験>

私たち北海道エスペラント連盟は、ロシアのエスペラントクラブと協定書をかわして定期的な相互訪問を実施しているものだが、98年10月ロシア人エスペランチストの日本入国のビザ発給の申請を同年8月に行ったところ、いつまでも当方に連絡がないので担当部署に問い合わせようとしたところ、外務省指示の担当電話は何十回電話をかけても一度も通じなかった。やむをえず外務省代表番号に電話をかけたところやっと担当者と話ができた。しかし、私たちの文書を受取っていないから発給できないとの返答であった。担当者は外務省内部での文書紛失の可能性否定し、私たち NGO 不手際か郵政省の不手際だと主張しつづけ発給を拒否した。そのままでは NGO の交流事業に多大な支障をきたすので、やむをえず当連盟は鈴木宗男衆院議員、保坂展人衆院議員に相談したところ、やっと外務省がしぶしぶ対応し、自らの非を認めなかったものの予定期日ぎりぎりにビザを発給した。

今後このような事態をなくしていただきたい。また、万が一外務省の NGO に対する対応を是正してほしい場合、ただちに対応する窓口の設置が民間国際交流のために必要であると考えます。

La usonanoj ŝokitaj de Nagasako : La letero de s-ro Miko Sloper  
ナガサキを知ってしまったアメリカ合衆国市民の涙

道大会に来たことがあり、おなじみの人も少なくない Michael "Miko" Sloper さんから 8 月 15 日の消印で、宮沢直人さんに手紙が届きました。Miko さんの町 Berkeley は合衆国でのエスペラントの一大拠点で、また、アフガンへの報復攻撃に反対決議をした全米でただ一つの市でした。

Kara amiko:

Antaŭhieraŭ mi partoprenis ceremonion kiu agnoskis la nekredeblan tragedion de la atombomba eksplodo en Nagasako. Tre kortuŝe oni demandis "kiu havas amikojn en Japanio?" Kompreneble mi asertis ke jes, mi konas multajn samideanojn en la lando de tagiĝo, kaj eĉ kelkajn kiujn mi ja rajtas nomi amikojn spite al la tro grandaj distanco kaj tempo kiuj forigas nin unu de la alia... La preleganto koncerna petis nin kontakti niajn japanajn amikojn kaj surŝultre preni la respondecon de la usona popolo pro tiu ne pardonebla evento, petante tamen la pardonon de la japanoj koncernaj nome de la japana popolo. Plorante mi konsentis malgraŭ la fakto ke mi ne vivis (nek vi!) dum la katastrofo koncerna. Iusence mi ja respondecas ĉar mi fakte estas membro de la tribo kulpa. Mi scias ke vi estas aktiva pacabatalanto, kaj mi mem strebas fari ion por paco. Mi sendas tiun ĉi mesaĝon al vi laŭ tiu ĉi celo: pardonpeti pro agado milita por iel plifaciligi la vojon al paco. Bonvolu pardoni Usonon rilate la pekon koncernan kaj helpi nin nun trovi pacon anstataŭ denove krei maljustan militon.

Preĝu por mia nacio, mi petas!

Mi tre alte taksas nian personan rilaton kaj ege bedaŭras ke ni ne povas okulumi unu la alian kaj preni la manon. Iukaze mi simple volis kontakti vin kaj aserti ke vi estis forte kaj tenere pripensita okaze de tiu ĉi terura datreveno. Mi surakvigis flosantan lanternon viahonore.

Mi sendas al vi benojn kaj bondezirojn.

Amike salutas vin  
miko.



\*Omoto; n-ro 447, 2001 jul-dec, Oficiala organo de Omoto kaj linrui Aizen-kaj(UHA), B5 X33頁+表紙(カラー), E文。

\*SFERILO:変形A 4版2枚3頁。SFERO (San Francisco Esperanto Regional Organization) 発行、12月例会予告号。11月例会では Joel Brozovsky が日本大会について「世界大会に匹敵する内容」と報告した。

例会への提案 (de GRIGORJEVSKIJ kaj GIGI HARABAFIU) が2枚目。

\*VOJO SENLIMA; N-ro 151 Novembro 2001, 熊本エスペラント会。B5 X12頁、今号は日本文のみ。特集「エスペラントとの出会い」の文で見ると、出会って何かを発見した人たちが続けている、と思われる。

\*SFERILO:変形A 4版1枚2頁。SFERO 発行、1月例会予告号。東京での世界大会(1965)に参加していた S-ino Ĝigi Harabaiu の追悼記事も。

\*Novajoj Tamtamas:N-ro 176, Decembro 2001, Jokohama Esperanto-Rondo(JER), A4X4頁、全文E。チェコの読者からの便り Ĉu danĝeras bicikli printempe? 鳥に襲われる話。日本でもあるが、pigo と korvoが出てくる。

\*La Tamtamo: 第330号(2001年12月, JER), A4 X 4 頁、日本語。Raportojに日本大会でのホームページコンクール。1位 HELに次いで2位は JERだった。

\*La Vulkano: N-ro 139, Vintro 2001 : LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO:B5 X 8頁中E. 文1頁。1頁にS-ino NEMERE (ハンガリー) の歓迎会でのカラー写真。

\*NOVA VOJO:2001. 12:N-ro369 decembro A5 X30頁、内E文約7頁。大本エスペラント普及会発行

\*LA SUNO:N-ro 75, 2001. 12. 13, 山梨エスペラント会、B5 X18頁のうちE文6頁「エスペラント1日1言(池本盛雄)」は、「今日は何の日?」のエスペラント版、登場人物・歴史への解説がいい。美しいエスペラント関係切手類のカラーページや医療関係会話もある。

\*VOJO SENLIMA; N-ro 152 Decembro 2001, B5 X10頁中E. 文半頁。

\*センター通信:2001年12月25日、名古屋エスペラントセンター、N-ro229, B5X12頁、日本文。

\*La Tamtamo: 第331号(2002年1月, JER), A4 X12 頁、日本語。2月16日の総会のための資料集。

\*Novajoj Tamtamas:N-ro 177, Januaro 2001, JER, A4X4頁、全文E。1915年ごろ学び始めた malnova E-isto, S-ro ADAĈI の思い出が前号から連載中。

\*第76回九州エスペラント大会案内 5月25~26日、久留米で開かれる。

\*PONTETO: Januaro 2001 N-ro 191: 関東エスペラント連盟(ELK):B5X12 頁のうちE. 文は7頁、そのうち6頁は S-ro 栗栖継と中国の E. 作家 Shi Chengtai (石成泰) との往復書簡

\*La Movado N-ro 611 jan. 2002, 関西エスペラント連盟(KLEG), B5 X16 頁の内E文約4頁、内2頁に Pri la terorismo kaj ĝiaj sekvoj として Joel Brozovsky (Usono) と Anatoli Ionesov(Uzbekio)の文。どちらも基調はザメンホフの "Ne al glavo sangon soif-anta". 「打てば響くエスペラントへの関心(滝沢岩雄)」は女子大の教壇からの報告。

\*NOVA VOJO:2002. 1: N-ro370 januaro A5 X36頁、内E文約5頁。E。一日対訳で連載中の "En miaj knabinaj tagoj" (おさながたり-出口すみこ) は、大本

教発祥の物語。

\*SFERIL0: 2月例会予告号。1月例会の Festparoladoは Carli Galvin の "Ne al glavono sangon soifanta"。

\*Hokkaido Romazi Kenkyo No.111 (復刊84) 北海道ローマ字研究会 Hs.14n.01 gt.21nt.発行、B5X 8頁、和文。

\*Mejlstono 2002/2 N-ro 169, 仙台E会: B5X 10頁の内E文 1頁は、去年北海道大会でシンポジウムの基調講演をお願いした後藤齊さんの "Saluto de nova prezidanto"。

\*SFERIL0: 3月例会予告号。43年間サンフランシスコで続いた夏期講座は、今年 は Vermonto (バーモント州、ニューヨーク州の東隣り) Brattleboro の国際研修施設で7月8日~26日の間開かれる。日本からは遠くなった。

\*La Tamtamo: 第 332号(2002年 2月, JER), A4 X 4 頁、日本語。総会報告号。読書会報告は La fermita urbo (Istvan Nemere), 前回の Tien(Balano), 日本大会記念品の Flambirdo (火の鳥-手塚治虫) と、未来の物語が続いている。

\*Novajoj Tamtamas:N-ro 178, Februaro 2002, JER, A4X4頁、全文E。 トップに Mia vojaĝo al Nov-zelando(村田和代), S-ro ADAĈIの回顧録(3) に、Lanti を日本に迎えたとき (1936年) の話が出る。

\*NOVA VOJO:2002.2:N-ro 371 februaro 「今月号よりノーヴァ誌の体裁が変わりました」と、誌上講座の始まりにある。定形封筒に入る 21cm X 11cm, 24頁の内 E文約7頁。これで重さ18グラム。紙質も変わり、色彩も写真もなくなった。

\*La Movado N-ro 612 feb. 2002, B5 X 20頁の内E文約5頁。トップ記事 "Skize pri la Esperanto-Movado en Japanio 2001" は例年ながら1年間の運動の様相と特徴をよくまとめている。「皇室と性差別」(Aikawa Setuko) は、この問題を基本からていねいに解説しており、外国

人にも理解してもらえらると思う。

\*センター通信: 2002年 2月18日、N-ro 230、B5X12頁のうちE文1頁。朝日新聞投書のコピー。国際交流、世界の共通語を期待する声に答えて、エスペラントの実績を知らせた山田シマ子さんに拍手!

\*Eskalo 第94号、2002年 2月22日、川崎エスペラント会、B5X6頁、日本文。

\*札幌コンベンションセンターパンフ 2003年 6月札幌市白石区に完成予定。

\*La Movado N-ro 613 mar. 2002, B5 X 20頁の内E文約4頁。Mikspoto欄に「船の科学」所載記事: アジア・環太平洋諸国の若年研究者会議にHELから2名が参加し発表を行った ---。

と、未来の物語が続いている。

\*Novajoj Tamtamas:N-ro 178, Februaro 2002, JER, A4X4頁、全文E。 トップに Mia vojaĝo al Nov-zelando(村田和代), S-ro ADAĈIの回顧録(3) に、Lanti を日本に迎えたとき (1936年) の話が出る。

\*NOVA VOJO:2002.2:N-ro 371 februaro 「今月号よりノーヴァ誌の体裁が変わりました」と、誌上講座の始まりにある。定形封筒に入る 21cm X 11cm, 24頁の内 E文約7頁。これで重さ18グラム。紙質も変わり、色彩も写真もなくなった。

\*La Movado N-ro 612 feb. 2002, B5 X 20頁の内E文約5頁。トップ記事 "Skize pri la Esperanto-Movado en Japanio 2001" は例年ながら1年間の運動の様相と特徴をよくまとめている。「皇室と性差別」(Aikawa Setuko) は、この問題を基本からていねいに解説しており、外国人にも理解してもらえらると思う。

\*センター通信: 2002年 2月18日、N-ro 230、B5X12頁のうちE文1頁。朝日新聞投書のコピー。国際交流、世界の共通語を期待する声に答えて、エスペラントの実績を知らせた山田シマ子さんに拍手!

\*Eskalo 第94号、2002年 2月22日、川崎エスペラント会、B5X6頁、日本文。



\*札幌コンベンションセンターパンフ  
2003年 6月札幌市白石区に完成予定。

\*La Movado N-ro 613 mar. 2002, B5 X 20頁の内E文約4頁。Mikspoto欄に「船の科学」所載記事：アジア・環太平洋諸国の若年研究者会議にHELから2名が参加し発表を行った ---。

\*La Vulkano:N-ro 140, Printempo 2002 : LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO:B5 X 8頁中E.文2頁。Raportoj kaj sciigoj に、橋口成幸さんの中学校でのエスペラント授業。英語教科書にエスペラントが出ているので授業応援を申し出て7校から依頼が来た。

\*La Tamtamo: 第333号(2002年3月, JER), A4 X 4頁、日本語。

\*Novajoj Tamtamas: N-ro 179, Marto 2002, JER, A4X4頁、全文E。

\*NOVA VOJO: 2002. 3: N-ro 372 marto 21cm X 11cm, 28頁の内E文約8頁。

\*Mejlŝtono 2002/3 N-ro 170, 仙台E会 : B5X 4頁の内Esp文2頁は”Lingva neces-eto en Akita(GOTOU Humihiko)”で、秋田-宮城の方言的発音差から世界で話される英語、エスペラントの発音差を比較し、エスペラントの聞き取りやすさを述べている。

\*PONTETO: Marto 2002 N-ro 192: 関東エスペラント連盟(ELK):B5X 8頁のうちE.文4頁はHu GuozhuのVerda Majo (長谷川テル)回想。

\*SFERILO:変形A4版1枚2頁。SFERO発行、4月例会予告号。英語・エスペラント混在。真っ赤な紙に印刷された例会の演題がすごい。

アメリカのジハード(聖戦):Brozovsky マーガレット・サッチャーの「イスラムは新しいボルシェビズム(ソ連共産主義)か」について

ナスラ・ハッセンの「カミカゼからシャ

ヒド(自爆??)まで」について  
など -- 歴史をどう振り返るのか。

\*Al Vi Kara:N-ro 92(2002 apr.), 京都エスペラント会; B5 X24頁のうちE.文2頁。「-- コルチャックに捧ぐ7俳句のエスペラント訳紹介」(東田正義)は筆者の訳とポーランド人の訳を比較。

\*La Movado N-ro 614 apr. 2002, B5 X 16頁の内E文は計4頁半。巻頭の文は”Kunlaboras esperantistoj en ĝemelaj urboj”。エスペラントを社会に認めさせるものとして全国的に伸びている、姉妹都市のグループとの連携。北海道では進んでいない。「極東ロシアの同志と共に」(宮沢直人)は写真入りで0.7頁分。

\*NOVA VOJO: 2002.4: N-ro 373 aprilo 21cm X 11cm, 26頁の内E文5頁。

\*La Tamtamo: 第334号(2002年4月, JER), A4 X 4頁、日本語。

\*Novajoj Tamtamas: N-ro 180, Aprilo 2002, JER, A4X4頁、全文E。

\*Hokkaido Romazi Kenkyo No.112 (復刊85) 北海道ローマ字研究会 Hs.14n.04 gt.11nt.発行, B5X 8頁、和文。OTAYORIに出ているKIYASU Zen'iti sanはJEI顧問のS-ro 喜安善市か。5月25日13:30から札幌テレビ塔で開くこの会の講演会の講師2人とも元HEL会員。

\*Eskalo 第95号、2002年4月24日、川崎エスペラント会、B5X4頁、日本文。

\*センター通信: 2002年4月30日、N-ro 231, B5X18頁、日本文。名古屋のS-ro 山田義の、各地方会・会合訪問記「愛知に新しい緑の風・番外編」、写真多い。

\*La Movado N-ro 615 maj. 2002, B5 X 16頁の内E文は計4頁半。忍岡守隆(広島)の「国際婦人デーによせてメッセージ交換」エスペランティストの提案による国際交流が毎年続くことになった例。

今回の投稿文は、アイヌ語新聞「アイヌタイムズ」第 19 号に投稿したものをエスペラント訳したものです。

以下のホームページには、今回の投稿文のアイヌ語文と日本語対訳があります。興味のある方はご覧ください。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/ip/JO KO/AT19.htm>

*Mi Esperantigis mian artikolon en la 19-a numero de la aino-lingva ĵurnalo "Ainutimes".*

*Ĉi-suba artikolo estas la tradukajxo.*

*Kaj troviĝas la ainalingva kaj Esperanta artikoloj ĉe jena adreso:*

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/JOKO/AT19.htm>

## イケマ ikema

### *Cynanchum caudatum*

イケマは、匂いが強いので、悪い神も流行り病もそれを嫌がると言われています。イケマをかんで病人に向かって吹いたり、家の中で吹いたり、首から下げたりしました。Aino diras, ke malplaĉaj estas aino-dioj malbonaj au infektantaj iujn per malsano, ĉar forta estas laodoro de la plantradiko "ikema" nomata latine "*Cynanchum caudatum*". Kaj ili mordis ikema-on, elspiras ĝin al la malsanulojn aŭ elspiras ĝin en domo aŭ pendigis ĝin de kolo.

知里真志保さんは、次のように言いました：「イケマは、「カムイ・ケマ（神の足）」だろうと思います。草の根は、「そのケマ（草の根）」を言い表わすこともありません。」

S-ro TIRI Masiho diris jene: Mi pensas, ke ĝi estas "kamuy-kema" signifanta la aino-dian piedon. Iuj el ainoj nomas la herban radikon "kama", kiu signifas ĝian piedon.

イケマは、「シンリッ（根）」とか、「ペヌプ（汁を持つもの）」とか言い表すところもあります。

Iuj nomas "ikema"-on, "sinrit" signifanta la radikon au "penup" signifanta la sukajon.

その根を切ると乳のような汁がしたたるので、ペヌプ（汁を持つもの）と言われています。

Kiam oni tranĉas la radikon, la suko kiel lakto gutas. Tial oni nomas ĝin "penup (signifanta la sukajon)".

川上まつ子さんは次のように言いました：

「うちのおっかあたち風邪でもひいた時なもんだか、イケマを刻んで家の中で吹いたりしたのを見たことがある。わしら小さかった頃は、ポンプクル (pon pukuru 小袋) さ、おっかあが、スルククスリ (surkukusuri ショウブ) とかイケマとか入れて、首から下げらしてくれたもんだ。15、6 頃まで、それ首に下げらしたもんであったよ。イケマやスルククスリは、ハコ

オロ アオマレ (棺桶に入れる) したら、アナンシリ (死者) 持っていくポンプクルだの入れてしまった。」

S-ino KAWAKAMI Macuko diris jene: "Kiam oni malvarmumis, mia patrino *distranĉis ikema-on kaj mi vidis sin elspiras ĝin*. Kiam mi estas malgranda, mia patrino enmetis *surkukusuri-on*, t.e. akoron, aŭ *ikema-on* en mia saketo kaj pendigis ĝin de kolo. Ĝis kiam mi estas ĉirkaŭ 15-jara aŭ 16-jara, mi pendigis ĝin de kolo.

Kiam oni metas iun en ĉerkon, oni enmetis *ikema-on* aŭ *surkulusuri-on* (akoron) en la saketo kun mortinto."

イケマを焼いたり、煮たりして、食べましたが、親指くらいものを2つも食べると中毒を起こしたので、警戒したとされています。大きいものは、5cm ほどに太くなり、50cm くらい長くなります。

Oni rostis aŭ boligis *ikema-on* kaj manĝis ĝin. Oni diras, kiam oni manĝis du *ikema-ojn* grandajn kiel dikfingro, oni toksigiĝis, tial oni avertis. La grandaj *ikema-oj* fariĝas dika kiel 5cm kaj longa kiel 50cm.

青木愛子さんは次のように言いました:「老婆がイケマの根塊を黒く焼いてかじっているのを見たことがあります。老人は長生きのための薬だと言っていました。」

S-ino AOKI Aiko diras jene: "Mi vidis, ke la maljunulino nigre rostis la radikon de *ikema-o*. La maljunulino diris, ke ĝi estas drago por longa vivo."

萱野茂のアイヌ語辞典には、次のように書かれています:

「イケマを焼いて食べる時、あまり多く食べるとそれによって酔っぱらったようになり、ふらふらして、時にはそれで死ぬこともあるそうだ。」

En aina-japana vortaro de KAYANO Sigeru oni trovas jene: "Kiam oni rostas kaj manĝas *ikema-ojn*, se oni manĝas multe, oni ŝanceliĝas kiel ebrulo, foje oni mortas pro tio."

この毒の元は、シナンコトキシンといわれるものだそうです。これは、飲むと心臓がよくなるものだと言われています。また、それでうまくおしっこをするものだと言われています。

Oni diras, ke ĝia venena esenco estas *cynanchotoxin*. Kiam oni trinkas ĝin, ĝi bonigas koron laŭ onidiro. Kaj oni povas bone pisi pro tio laŭ onidiro.

イケマは、「*Cynanchum caudatum* (クユナンクム カウダトゥム)」という学名です。「*Cynanchum* (クユナンクム)」のことばの意味は、「犬を殺すもの」です。日本ではイケマ (カモメツル属、ガガイモ科) という名前です。

La scienca nomo de *ikema-o* estas "*Cynanchum caudatum*". La signifo de "*Cynanchum*" estas "aĝo mortiganta hundon." En Japanio ankaŭ oni nomas ĝin, "*ikema*" (la genro "*kamonezuru*", la familio "*gagaimo*").

イケマは、ヤワニ（南千島）やアイヌモシリ（北海道）、日本、中国にも生えているものです。山に生えるもので、ツタになります。7、8月に花が咲き、8、9月に実がなります。

En Yawani (Minami-Cisima), Aynumosir (Hokkajdo), Nippon (Japanio) kaj Ĉinio, ikema-o kreskas. Ĝi kreskas en monto, fariĝas kiel hedero. En julio aŭ aŭgusto, floras, en aŭgusto aŭ septembro, fruktas.

「知里真志保 分類アイヌ語辞典」には、こう書かれています：

En la aina-lingva vortaro "Ciri Masiho Bunrui-Aynugo-Ziten" oni skribas jene:

イケマは、お腹が痛い時に、少し噛んで飲んだものです。

Kiam la stomako doloras, oni iom mordas kaj trinkas ikema-on.

頭が痛い時は、焼いて布に包んで、頭に巻きました。

Kiam la kapo doloras, oni rostas ĝin, envolvas ĝin per tuko kaj volvas ĝin ĉirkaŭ la kapo.

目の病気を直すのに、寝る前に噛んで、まぶたにつけました。

Por kuraci okulmalsanon, oni mordas ĝin antaŭ kuŝiĝo kaj almetas ĝin al la palpebroj.

煎じて煮出し汁を濃くして、それから、傷

を洗うと、化膿しませんでした。

Oni dekoktas ĝin kaj densigas ĝian suppon, do, kiam oni lavas vundon, ĝi ne fariĝas pusado.

歯が痛む時は、これを噛みました。

Kiam la dentoj doloras, oni mordas ĝin.

美幌では種の表面に付いている綿を取って、どこかが傷ついた時に薬にしました。

En Peporo (Bihoro) oni prenas kotonecaĵon aigluitan sur semo. Kiam oni vundas, ĝi fariĝas sangohaltigilo.

日本では、乾いたイケマは、牛皮消根（ごひしょうこん）と言われるもので、同じように薬にするものです。

En japanio oni nomas sekan ikema-on **gohisyookon**. Ĝi fariĝas drogo same.

イケマの中にプレグナン配糖体、キナンコサイドC2と言われるものがあります。これは、抗腫瘍性や免疫増強作用もあるものだと言う人がいます。

En ikema-o troviĝas *Pregnane-glycoside* kaj *Cynanchoside C2* laŭ onidiro. Iuj diras, ke ĝi efikas kontraŭ-tumorecon kaj plifortigecon por imuno.



ESPERANTO 版 <http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/index.htm>

日本語版 <http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/jp/index-j.htm>

Registro de renovigoj

- 36 2002.2.3 Manifesto de Prago en Okinava Lingvo (ASCII kaj GIF)  
[utf-8(Unikodo)versio][lat-3(iso-8859-3)kaj GIF versio]
- 37 2002.2.16 la artikoloj en la aina-lingva ĵurnalo "Ainu Times"  
[Ikema (Cynanchum caudatum)]
- 38 2002.2.27 Vladivostoka Esperanto-klubo "Pacifiko"
- 39 2002.3.5 Manifesto de Prago en Okinava Lingvo (PDF)
- 40 2002.6.9 La informilo "TAMTAMO" de la "Indiĝenaj Dialogoj"  
Japan-Lingve
- 41 2002.8.20 Okazos la 66a Hokkajda Kongreso de Esperanto !!

更新記録

- 65 2002.2.3 プラハ宣言 (沖縄語版) エス版の追加
- 66 2002.2.3 有志による英語の第二公用語化に反対に関する署名 (樺山)
- 68 2002.2.11 札幌エスペラント会主催のエスペラント語普及教室受講者募集
- 69 2002.2.16 アイヌ語新聞への投稿記事「イケマ」(横山)
- 70 2002.2.26 ウラジオストック・エスペラント・クラブへのリンク
- 71 2002.3.5 プラハ宣言 (沖縄語版) PDF 版の追加
- 73 2002.4.15 イスラエル占領下のラマラからの呼びかけと証言  
及び子供たちの証言
- 74 2002.6.9 先住民族の対話の電子会誌「タムタモ」を日本語訳
- 75 2002.8.20 第 66 回道エス大会 (案・速報)

「タムタモ」翻訳は連盟以外の協力者も得て、意見を交換しながら着々と進んでいます。

メールマガジン「エスペラント」は9月20日に第49号を発行、購読者数は976名でした。(Heroldo よりはるかに多いです。) 今回の学習は休みに人を誘う会話のでした。新約聖書のエス文で腕試しをしてもらうコーナーもあります。お便りは、まず、サーノ・ヨーコさんから、ハヶ岳エスペラント館の紹介。自然の中での流しソーメン、おいしかっただろうなあああ。和歌山の江川治邦さんが、日本一の客船を使った近畿青年洋上大学で、中国を訪問した船上でエスペラントを宣伝したら、多くの若者が興味を持って質問してくれた経験を、送ってくれました。(文: 樺山)



帯広の真鍋さんがエスペラントを紹介する HP を作っています。その入り口のみ紹介します。

# VIVU ESPERANTO!

更新日 Tuesday, 23-Jul-2002 02:52:57 JST

Vi estas la **15816**-a vizitanto. (Fonda dato:17/8/2000)

Bonvenon al mia hejmpag<sup>o</sup>!

Siteへ



[エスペラント版\(Skribata ESPERANTO\)の](#)

国際語「エスペラント」について 知っていただければと思い、このウェブサイトを作りました。

エスペラントは世界の言葉を一つにしようとするものではなく、異なる言語を話す人同士の交流のために考案されたものです。

ホームページランキングに参加しました。 クリック&投票お願いします。  
ジオシティーズランキングも 投票お願いします。 大切な一票となりますように・・・。



(^^)



BBS1は自由な内容で、BBS2は語学的话题に、ゲストブックは、初めて来てくださった方の署名、寄せ書きとして書いていただければ 嬉しいです。よろしく。



エスペラントのブラハ宣言。

過去のゲストブック。

インターネットでエスペラント放送を聴こう!

エスペラント会話教室

エスペラントって何?

他の国際語「IDO」の説明。

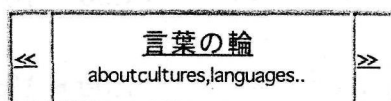


まーくんの こっそりかくれ部屋

IE、ネットスケープ、オペラそれぞれに対応していない部分があります。IEで見えていただければ嬉しいです。

このHPは、にのすけさん作成の素材を使わせていただきました。

ランキング情報。(7/10、AM2時現在)  
ジオシティーズ(ミルクウェイシリウス通り) 2位  
WEB RANKING (文学芸術) 19位  
VISUAL RANKING (文学芸術) 9位



まなべ  
真鍋 俊行さん

まなべさん ごめん またこれ使いました。

### Rekomendo de Nopporo, Ebetu

今度の道大会をやる野幌公民館は、町中なのにきれいな林や公園に囲まれ、近くに味のある骨董店や、大きな洋館を利用したガラス工房があり、散策にいいところです。入門講習会や交流会 Bankedo の場に選んだ喫茶「ども」は、無農薬にこだわる料理がおいしく、コーヒーもおいしい、木の香りのする、芸術的な店でした。気に入っていただけると思います。レンガと国際交流の町へ、どうぞ来てください。

# La 66a Hokkajda Kongreso de Esperanto

## 第66回北海道エスペラント大会

大会日程 2002年10月10日(木)～13日(日)

大会会場 江別市 野幌公民館 TEL 011-382-2414 江別市野幌町 13-6

(JR 野幌駅より徒歩約10分)

喫茶ドラマシアター ども TEL 011-384-4011

067-0074 江別市高砂町 37-9

主催 札幌エスペラント会・北海道エスペラント連盟

連絡先 北海道エスペラント連盟事務局

001-0045 札幌市北区麻生町 1-3-13 ロンデタージョ TEL/FAX 011-717-4189

大会テーマ 「国際交流・自由自在」

参加費	道内エスペランチスト	3500円	記念品有り
	家族参加	1500円	記念品無
	不在参加	2000円	記念品有り
	一般・道外参加者	300円	記念品無
	直前入門講習会(一般)	300円	記念品無

宿泊：個人で手配してください。なおロンデタージョは無料

### 開催日程

10月10日(木) 入門講習会 会場「ども」 14:00～16:00

10月11日(金) 入門講習会 会場「ども」 17:00～19:00

10月12日(土) 講演会・展示 於 野幌公民館

10:00～12:30 パネルディスカッション「国際交流の面白さ・エスペラントの魅力」

パネラー バレリー・パラヴィンさん

(ウラジオストックエスペラントクラブ 事務局長)

セルゲイ アニケイエフさん

(ロシア極東国立総合大学教授、函館在住エスペランチスト)

坂本 純科さん(飛んでけ車いすの会)

13:30～15:30 講演「極東ロシアの現状」

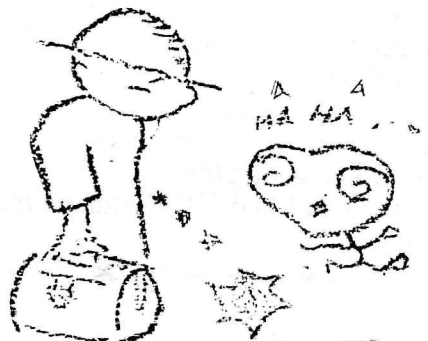
講師 バレリー・パラヴィンさん セルゲイ アニケイエフさん

16:00～ 夕食会・バンケード 於「ども」

19:00 終了

10月13日(日) 北海道エスペラント連盟総会・アトラクション

10:00~12:00 総会  
12:00~13:00 昼食  
13:00~14:30 総会  
14:45~16:00 アトラクション  
16:00~16:30 第1回役員会  
後片付け 移動  
18:00~ 打ち上げ 於 ロンデタージョ



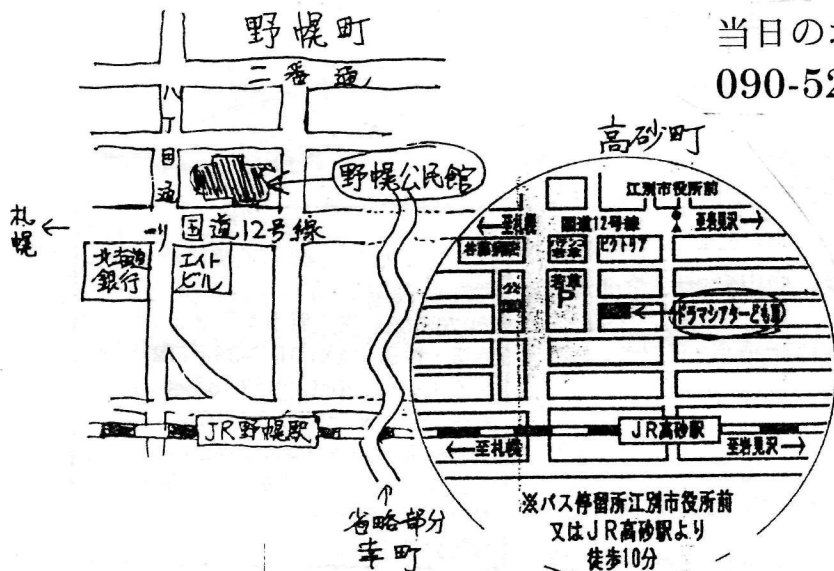
大会記念品 \* いかんじ「ザメンホフ原作全集完成記念仮想講演会」または「PVZ 普及のためのCM小説：伝説ぬきのザメンホフ」  
\* 野幌をテーマにした絵葉書

後援(予定)： 北海道、北海道教育委員会、在札幌ロシア連邦総領事館、(社)北方圏センター、日本ユーラシア協会北海道連合会、江別市、江別市教育委員会、江別市国際交流推進協議会

Okazos la 66a Hokkajda Esperanto-Kongreso de la 10a ĝis la 13a de oktobro en la urbo Ebetu.

大会での役員選挙の前に

新しい委員の候補を募集します。立候補される方は星田(組織担当)までご連絡ください。電話・ファクシミリは0144-74-2539, 電子メールはmcm63639@biglobe.ne.jpです。HELはみんなに開かれた組織です。



当日のお問合せは電話で  
090-5229-0473 まで

ENHAVO

Paĝo1 Rifugantaj junulinoj el Afganio volas korespondi

- 4 Zamenhof-Festo de SES(Sapporo-E-S)
- 5 Danka folio de ministro
- 6 La kaptejo de Elabuga
- 7 Ĉe la ekspozicio pri Ĉiri Jukie
- 8 Novjara Kurso en 2002
- 11 Letero de la filo de Hokkajda pioniro
- 12 El ĵurnaloj
- 13 La rifuginto el Kongo~~X~~ Ntumba Kapinga
- 14 La aina lingvo
- 16 Manifesto de Prago en la Okinava lingvo
- 19 Alvoko kaj atesto de Ramallah, Palestino
- 27 Nekrologo : S-ro MISAŬA Masahiro
- 28 Novaĵoj el Vladivostoko
- 30 Pak Hunyung : Nuligita e-isto korea
- 31 La Maja Kunloĝado 2002
- 32 Nekrologo : s-ro OGUMA Eiiti
- 33 Aŭstralianino, Diane, vizitis Hokkajdon
- 34 Propono je la civiliza interparolo kun la diplomatia ministro KAWAGUTI pri rilatigo kun Rusio
- 36 La usonanoj ŝokitaj de Natasako : La letero de s-ro Miko Sloper
- 37 Danke ricevitaj
- 40 Ikema, Kuraca herbo de aino
- 43 Hejmpaĝo de HEL
- 44 Hejmpaĝo de s-ro MANABE Tosiyuki
- 46 La 66a Hokkajda Esperanto-Kongreso

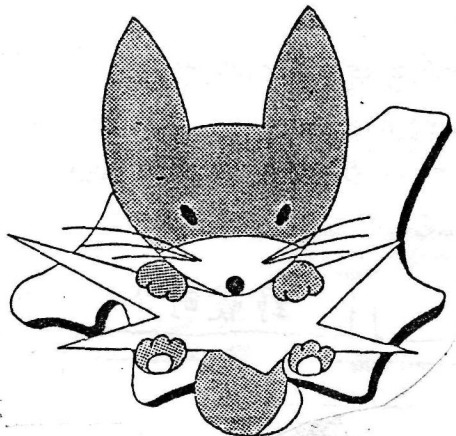
目次

- 2 エスペラントを学ぶアフガン難民の少女たちに手紙を送ろう
- 4 札幌エスペラント会のザメンホフ祭(後藤義治)
- 5 インターネット博覧会での感謝状
- 6 エラブガ捕虜収容所死没者名簿 その後(星田 淳)
- 7 知里幸恵展にて
- 8 新春講習会(佐藤不二雄、樺山裕介、参加者のみなさん)
- 11 「父は元気です」2002年新年講習会外伝(宮沢直人)
- 12 新聞から
- 13 コンゴ民主共和国(旧ザイール)からの難民ントゥンバ=カピングさんの今
- 14 2001年ウラジオ学生大会での発表原稿「アイヌ語」(樺山)
- 16 プラハ宣言沖縄語訳にご協力ください

た比嘉清さんから

- 17 沖縄語版プラハ宣言その後(横山裕之)
  - 19 侵攻下のパレスチナ・ラマラ市からの通信
  - 27 訃報 三澤正博さん
  - 28 ウラジオで、二葉亭四迷記念行事(Aleksandr Titaev)
  - 30 抹殺されたエスペランチスト 朴憲永(樺山)
  - 31 5月合宿(樺山)
  - 32 訃報 小熊録一さん
  - 33 オーストラリアのダイアンさんが富良野に(樺山)
  - 35 第3回外務省タウン・ミーティング「川口外務大臣と語るタウン・ミーティング」参加申込書における提案(宮沢)
  - 36 ナガサキを知ってしまったアメリカ合衆国市民の涙(Miko Sloper)
  - 37 受領郵便物(星田)
  - 40 イケマ アイヌ民族伝統の薬草(横山)
  - 42 HELのホームページへようこそ
  - 44 真鍋俊行さんのホームページ
  - 46 第66回北海道エスペラント大会
- 3 第8回委員会報告

NOPORO FERVORE BONVENIGAS VIN !



Heroldo de HEL 第92号 (2002.9.23)  
北海道エスペラント連盟機関誌  
編集者 樺山 裕介  
〒076-0024 富良野市幸町 2-20-A  
電話・電送(FAX) 0167-23-5772  
電子メール k abaty@fa3.so-net.ne.jp  
郵便振替口座 02700-6-17075  
「北海道エスペラント連盟」  
正会員 3000円 家族会員 1000円  
青年会員[25才以下] 1500円  
購読会員 2000円